

# 酪農学園フィールド教育研究センター報告

学校法人酪農学園

第11号  
(2024年度)

# 目 次

はじめに

## I. 事務部門

I - 1	概要	2
I - 2	沿革	2
I - 3	組織図	3
I - 4	FEDREC 関係教職員	3
I - 5	委員会等開催状況	4
I - 6	領域	5
I - 7	収支決算	6
I - 8	技師の資質向上のための研修会等参加状況	7

## II. 教育・研究・エクステンション活動

II - 1	教育利用申請状況	10
II - 2	研究利用申請状況	13
II - 3	エクステンション等利用申請状況	16
II - 4	研究利用成果	17

## III. ステーション別運営概況

III - 1	酪農生産ステーション	23
III - 2	肉畜生産ステーション	31
III - 3	作物生産ステーション	42

## IV. 土壌分析

IV - 1	土壌分析値	49
--------	-------	----

# はじめに

酪農学園フィールド教育研究センター

センター長 高橋 俊彦

日頃より、酪農学園フィールド教育研究センター（Rakuno Gakuen Field Education and Research Center、以下「FEDREC」）の教育研究の運営に対して、格段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。2024年度のFEDREC報告（第11号）の発行にあたり、ご挨拶申し上げます。

FEDRECは、酪農学園の建学の精神と教育理念に基づく実学教育の推進と教育の質を保証し、関連研究の充実化に寄与することを目的に2012年に設置されました。FEDRECでは、文京台キャンパスに乳牛施設（フリーストール牛舎および繋ぎ飼い牛舎）と飼料生産圃場（酪農生産ステーション）および農学系実験実習施設（環境制御型ガラスハウス・ビニールハウス・農具庫・露地圃場・堆肥舎・乾燥舎等、作物生産ステーション）を整備しました。また、元野幌地区には、肉牛農場および中小家畜（豚、羊、鶏）飼養施設も整備し（肉畜生産ステーション）、教育研究の「場」の充実を図っております。FEDRECは、3つのステーションの技術職員組織と教育研究を行う教員組織である領域によって運営されています。本報告には、それぞれのステーションと領域における活動内容を記載しましたので、ご一読いただければ幸いです。

今年度は第1回収穫体験会を実施し、多くの市民や教職員、学生・生徒が来場し、盛会に終了しました。FEDRECの教職員が、センターやキャンパス内で収穫した食材を用いたスープを学生に無料提供する活動も実施し、学生のキャンパス生活支援やフィールド教育の体験促進につなげました。こうした活動は、実習だけでなく学生の食・健康・地域交流を含む経験を広げる機会となりました。

7月に酪農生産ステーション内で牛サルモネラ感染症が発生しました。迅速な対策を教職員と学生で実施しましたが、終息までに107日間を要しました。学生、教職員の実習や教育研究に多くの支障を来たしご迷惑をおかけいたしました。これを機会に農場の在り方と衛生管理体制の見直しの議論が進められました。

また、農場改革ワーキンググループの答申に基づき、酪農生産ステーションの農場改革案の検討が進行し、施設運営の中長期的な改善につながる動きとして進めて行くこととなりました。

FEDRECは全国の農学系大学・高校の中でも充実した教育研究の環境と施設を有しています。これらの施設群を最大限に生かしたより良い教育研究が展開できるように、また、社会連携・貢献の「場」としての発展にも取り組んで参ります。今後とも、皆さま方の一層のご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



## I . 事務部門

## I - 1 概要

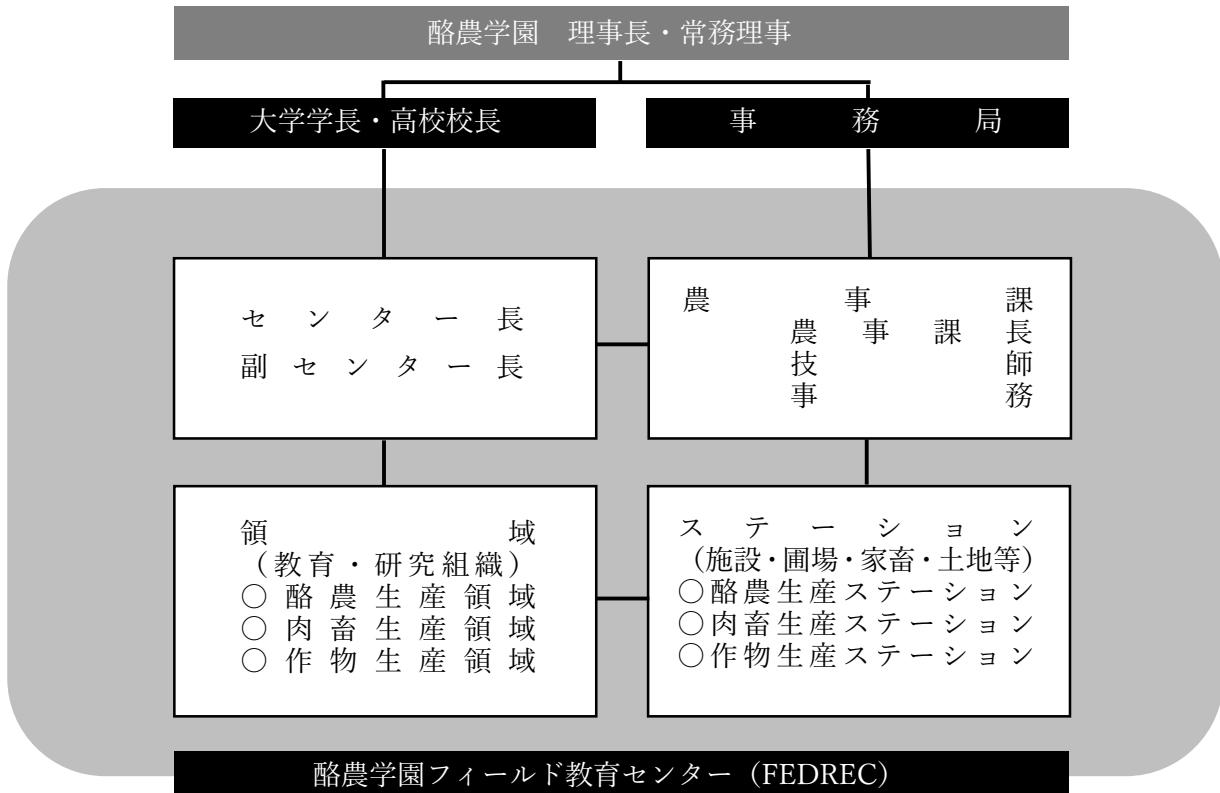
酪農学園フィールド教育研究センター（FEDREC）は、酪農学園の実学教育に係る教育運営や施設を一元化し、酪農学園の建学の精神と教育理念に基づく実学教育の推進と教育の質を保証し、関連研究の充実に寄与することを目的として設置された。

現在は、酪農生産、肉畜生産および作物生産の3領域と酪農生産、肉畜生産および作物生産の3ステーションで運営している。

## I - 2 沿革

- 1933（昭和8）年 北海道酪農義塾を設置（札幌村苗穂）  
1934（昭和9）年 第1農場（苗穂）、第2農場（札幌村三角）を開設  
1937（昭和12）年 北海道酪農義塾酪農科経営農場を白石村野津幌に開設（第1農場を移管）  
1938（昭和13）年 第2農場を白石村野津幌に移管  
1948（昭和23）年 高等学校としての認可を受け、野幌機農高等学校開校  
1950（昭和25）年 酪農学園短期大学を開学、短大実習農場を設置  
（機農高校第1農場を移管、34ha）  
1960（昭和35）年 酪農学園大学を開学、大学短大実習共同農場発足（44ha）  
1961（昭和36）年 農場を大学と短大に分離  
1973（昭和48）年 大学短大附属農場発足（44.6ha）  
1988（昭和63）年 酪農学園大学附属高校農場（旧機農高校）を合併（85.4ha）  
2000（平成12）年 インテリジェント牛舎完成、バイオガスプラント稼働開始  
2008（平成20）年 元野幌農場肉牛牛舎および農機具庫完成  
2012（平成24）年 酪農学園大学短期大学部を廃止  
2013（平成25）年 繋ぎ飼い牛舎完成  
2014（平成26）年 酪農学園フィールド教育研究センターに改組  
作物生産および肉畜生産ステーション施設完成  
2020（令和2）年 酪農生産ステーション自動搾乳システム牛舎運用停止  
2021（令和3）年 作物生産ステーション水田圃場供用開始  
2023（令和5）年 垂直式太陽光発電を活用した実証研究開始  
2024（令和6）年 サルモネラ感染牛発生 第1回収穫体験会開催

## I - 3 組織図



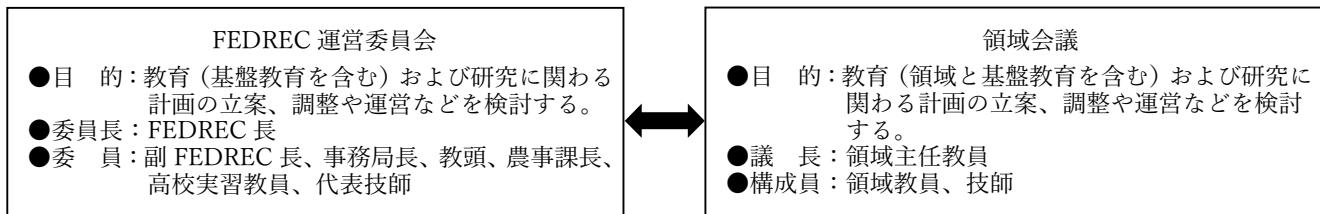
## I - 4 FEDREC 関係教職員

センター長	教授 泉 賢一	・作物生産ステーション
副センター長 (酪農生産領域主任)	教授 菊 佳男	代表技師 山口 剛典
副センター長 (肉畜生産領域主任)	教授 山田 未知	専任技師 清野 貴志
副センター長 (作物生産領域主任)	教授 森 志郎	嘱託技師 小松田結生
高校実習部長 (とわの森三愛高等学校)	教諭 伊藤 有輝	臨時職員 高橋 義輝
		臨時職員 佐藤 仁
		臨時職員 佐藤 宏之
		臨時職員 柳田 淳
<b>・酪農生産ステーション</b>		
<牛舎部門>		
代表技師	稻森 剛	
専任技師	岩崎 正行	
嘱託技師	長谷川聰史	
臨時職員	三國 満博	
臨時職員	玉置 裕也	
臨時職員	小野 翔平	
臨時職員	増井宏一朗	
<圃場機械部門>		
専任技師	川岸 孝博	
臨時職員	丸山 純子	
<b>・肉畜生産ステーション</b>		
<肉牛部門>		
代表技師	河野 仁	
専任技師	工藤 帆波	
臨時職員	仲西 愛実	
臨時職員	落合 康成	
<中小家畜部門>		
代表技師	吉田葉奈子	
専任技師	上野 秀樹	
臨時職員	永井 俊彦	
臨時職員	會田 豊	

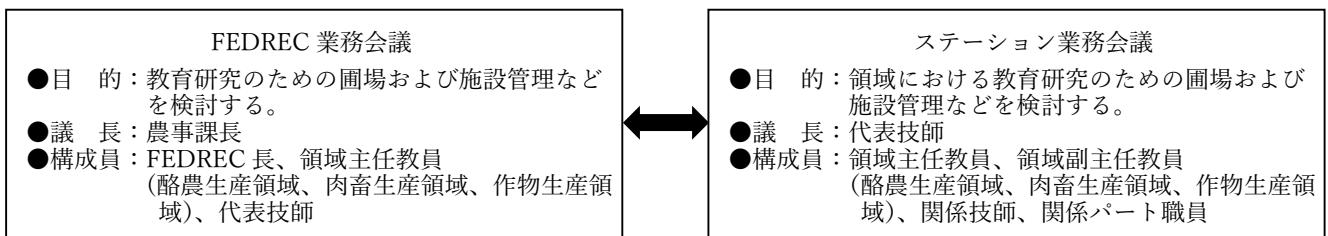
## I – 5 委員会等開催状況

FEDREC に設置する委員会および会議等と位置付け並びに圃場および施設管理に関する会議と位置づけを図に示した。

### FEDREC に設置する委員会および会議等と位置づけ



### FEDREC における教育研究のための圃場および施設管理に関する会議と位置づけ



#### ・委員会等開催状況

2024年4月4日	第1回 執行部会議
2024年4月11日	臨時 執行部会議
2024年4月29日	FEDREC 全体会議
2024年5月20日	第1回 運営委員会
2024年6月21日	第2回 執行部会議
2024年8月5日	第3回 執行部会議
2024年11月11日	第4回 執行部会議（予算）

## I – 6 領域

教育・研究を担う教員組織が領域である。教員が固定的に配置されることはなく、大学と高校の教員は必要に応じて横断的に集結・議論し、教育と研究の企画等やその調整を行う。以下の3領域で構成されている。

### 酪農生産領域

酪農生産領域は、フリーストール牛舎および繋ぎ飼い牛舎の異なる2つのシステムで泌乳牛を飼養している酪農生産ステーションを活用し、教育研究を展開している。活用にあたっては、循環農法に基づいた乳牛ふん尿の有効利用、土壌分析に基づく適性施肥による粗飼料生産を重視するとともに、ゲノム成績に基づく乳牛の育種改良を実施している。なお、老朽化した自動搾乳システム牛舎（搾乳ロボット）の運用停止を機に、当該牛舎の利活用も含め、今後の新たな先進的乳牛飼養体系を見据えた具体的な畜舎施設群再構築の議論を進めている。

### 肉畜生産領域

肉畜生産領域は主に肉畜生産ステーションと連携し、教育研究を展開している。肉畜生産ステーションでは肉牛、豚、鶏およびめん羊など、主に肉及び卵の生産に関わる動物を飼育しており、肉畜生産領域はこれらの動物の育種、繁殖、肥育および放牧を含めた飼養管理技術とその関連分野（飼料作物、土壌、衛生管理など）に関し、教育活動と研究活動を展開・推進している。教育活動としては、大学の基盤教育である健土健民入門実習（肉牛、中小家畜）、専門教育として飼育管理や獣医療に関する各種実習を行っている。研究活動としては、卒業論文、修士・博士論文に関わる研究など学内の研究を実施する他、学外からも広く研究課題を受け入れている。

### 作物生産領域

作物生産領域は循環農学類、食と健康学類、環境共生学類および附属とわの森三愛高等学校の教員により構成されている。大学の基盤教育においては健土健民入門実習（作物）、専門教育においては水稻、畑作、野菜、花き、飼料作物の栽培に関する実習およびその関連分野（遺伝・育種、作物保護、土壌・植物栄養、農業機械など）を対象とした実験科目等が展開されている。また、卒業論文および修士・博士論文に関わる研究が実施され、その成果は学術報告として多数公開されている。さらに、道内外からの見学者対応や市民公開講座開催などを通して社会連携にも寄与している。附属とわの森三愛高等学校の実習の一部は、大学教職コース所属学生の実践的な学びの場ともなっている。

## I - 7 収支決算

### 収入の部

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	内 訳								
				酪農生産ステーション		肉畜生産ステーション		作物生産ステーション		圃場機械ステーション		共通運営費
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額
牛 乳 収 入	87,462,000	84,418,075	3,043,925	87,462,000	84,418,075							
大 家 畜 収 入 ( 乳 牛 )	7,500,000	7,967,819	▲ 467,819	7,500,000	7,967,819							
大 家 畜 収 入 ( 肉 牛 )	25,400,000	24,593,373	806,627	25,400,000	24,593,373							
小 家 畜 収 入 ( 豚 ・ 羊 )	10,222,000	11,392,337	▲ 1,170,337			10,222,000	11,392,337					
家 禽 収 入 ( 鶏 卵 )	1,002,000	1,038,780	▲ 36,780			1,002,000	1,038,780					
殖 产 収 入 ( 牧 草 )	250,000	1,347,115	▲ 1,097,115			250,000	1,347,115					
殖 产 収 入 ( 麦 程 )	134,000	72,600	61,400							134,000	72,600	
殖 产 収 入 ( 野 菜 ・ 花 き )	1,500,000	60,198	1,439,802					1,500,000	60,198			
乳 実 験 収 入	1,600,000	2,602,450	▲ 1,002,450	1,600,000	2,602,450							
雜 収 入	627,000	1,603,139	▲ 976,139	0	169,642	90,000	4,000	0	1,418,937	537,000	10,560	
施 設 備 利 用 料 収 入	0	0	0									
収 入 計	135,697,000	135,095,886	601,114	121,962,000	119,751,359	11,564,000	13,782,232	1,500,000	1,479,135	671,000	83,160	0
												0

### 支出の部

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	内 訳								
				酪農生産ステーション		肉畜生産ステーション		作物生産ステーション		圃場機械ステーション		共通運営費
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額
消 耗 品 費 支 出	52,621,000	45,749,364	6,871,636	24,944,000	21,320,567	12,906,000	10,264,057	2,211,000	2,057,245	10,560,000	10,540,612	2,000,000
光 熱 水 費 支 出	44,965,000	35,586,314	9,378,686	16,699,000	15,017,868	10,939,000	9,148,757	16,988,000	11,059,941	339,000	359,748	
旅 費 交 通 費 支 出	1,999,000	935,106	1,063,894	300,000	28,000	76,000	57,900	100,000	0			1,523,000
印 刷 製 本 費 支 出	580,000	216,383	363,617	50,000	13,200	60,000	51,602	24,000	0			446,000
通 信 運 搬 費 支 出	1,859,000	2,058,244	▲ 199,244	578,000	590,943	1,281,000	1,390,507			0	35,310	0
報 酬 謝 礼 金 支 出	0	90,000	▲ 90,000									90,000
支 払 修 繕 費 支 出	15,407,000	21,239,680	▲ 5,832,680	6,882,000	5,271,510	2,665,000	11,538,591	1,060,000	487,326	4,800,000	3,921,353	0
公 租 公 課 支 出	370,000	556,237	▲ 186,237	32,000	12,100	158,000	357,042	52,000	50,195	128,000	136,900	
賃 借 料 支 出	4,367,000	2,955,667	1,411,333	1,191,000	505,560	3,016,000	2,194,577	160,000	158,400			97130
損 害 保 険 料 支 出	2,868,000	2,970,720	▲ 102,720	672,000	662,389	995,000	1,041,710	576,000	607,640	424,000	458,920	201,000
諸 会 費 支 出	219,000	303,610	▲ 84,610	93,000	78,000	20,000	35,500	0	6,000			106,000
飼 料 費 支 出	57,926,000	51,048,434	6,877,566	39,560,000	34,540,427	18,366,000	16,508,007					
委 託 手 数 料 支 出	23,139,000	22,773,039	365,961	11,167,000	9,538,026	7,689,000	9,116,032	2,523,000	2,466,151	760,000	873,692	1,000,000
雜 費 支 出	94,000	111,442	▲ 17,442	94,000	63,150	0	2,550	0	1,113			44,629
兼 務 職 員 ( 学 生 )	16,939,000	14,528,655	2,410,345	11,540,000	9,551,415	5,259,000	4,835,970	40,000	39,270	100,000	0	102000
兼 務 職 員 ( 短 期 )	1,650,000	278,145	1,371,855	1,450,000	114,345	200,000	163,800					
教 研 備 品 支 出 ( 少 重 )	0	992,361	▲ 992,361			0	992,361					
建 物 支 出	61,144,000	40,812,322	20,331,678	1,144,000	1,144,000	60,000,000	39,668,322					
構 築 物 支 出	0	9,378,456	▲ 9,378,456			0	9,378,456					
通 勤 費 ・ 兼 務 ・ 短 ・ 非	0	35,630	▲ 35,630	0	15,590	0	20,040					
支 出 計	297,205,000	264,607,609	32,597,391	124,866,000	107,537,690	123,630,000	117,095,781	26,322,000	19,520,481	17,111,000	16,326,535	5,276,000
												4,127,122

### 特別予算

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	内 訳								
				酪農生産ステーション		肉畜生産ステーション		作物生産ステーション		圃場機械ステーション		共通運営費
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額
消 耗 品 費 支 出	13,044,000	8,734,210	4,309,790	11,454,000	7,028,051	0	872,059					1,590,000
旅 費 交 通 費 支 出	1,000,000	415,682	584,318									1,000,000
通 信 運 搬 費 支 出	48,000	133,001	▲ 85,001	48,000	133,001							
報 酬 謝 礼 金 支 出	0	90,000	▲ 90,000									90,000
支 払 修 繕 費 支 出	2,549,000	11,641,023	▲ 9,092,023	282,000	252,560	2,267,000	11,388,463					
公 租 公 課 支 出	0	30,000	▲ 30,000			0	30,000					
賃 借 料 支 出	1,051,000	556,930	494,070	1,051,000	505,560							51,370
諸 会 費 支 出	0	5,060	▲ 5,060									5,060
委 託 手 数 料 支 出	294,000	1,599,585	▲ 1,305,585	294,000	437,926	0	1,144,049					17,610
雜 費 支 出	64,000	75,033	▲ 11,033	64,000	63,150							11,883
兼 務 職 員 ( 学 生 )	3,470,000	897,090	2,572,910	3,470,000	897,090							
兼 務 職 員 ( 短 期 )	1,650,000	229,005	1,420,995	1,450,000	114,345	200,000	114,660					
教 研 備 品 支 出 ( 少 重 )	0	992,361	▲ 992,361			0	992,361					
建 物 支 出	61,144,000	40,812,322	20,331,678	1,144,000	1,144,000	60,000,000	39,668,322					
構 築 物 支 出	0	9,378,456	▲ 9,378,456			0	9,378,456					
通 勤 費 ・ 兼 務 ・ 短 ・ 非	0	28,190	▲ 28,190	0	15,590	0	12,600					
計	95,372,000	87,137,148	8,234,852	27,727,000	19,523,273	62,467,000	63,600,970	2,588,000	2,587,200	0	0	2,590,000
												1,425,705

## I – 8 技師の資質向上のための研修会等参加状況

番号	研修会	参加者	所属 ST	期間	開催地
1	第 42 回石狩スプリングショウ	稻森 剛	酪農生産	2024/5/18	江別市
2	J AGRI KYUSHU	稻森 剛	酪農生産	2024/5/22	熊本県
3	2024 年北海道ブラックアンドホワイトショウ	稻森 剛	酪農生産	2024/5/24–26	安平町
4	江別市黒毛和牛種共励会	河野 仁	肉畜生産	2024/6/7	江別市
5	石狩管内肉用牛共進会	河野 仁	肉畜生産	2024/6/28	当別町
6	北海道ラッカセイサミット 2024	清野 貴志	作物生産	2024/8/6	札幌市
7	令和 6 年度北海道・東北地域大学附属農場協議会	清野 貴志	作物生産	2024/8/29	秋田県
8	令和 6 年度北海道種豚登録講習会	吉田 葉奈子	肉畜生産	2024/8/29	札幌市
9	北海道肉用牛共進会	河野 仁	肉畜生産	2024/8/30–31	音更町
10	全国大学付属農場協議会秋季協議会	山口 剛典	作物生産	2024/9/12–13	山梨県
11	北海道養豚研究会 第 86 回大会	吉田 葉奈子	肉畜生産	2024/10/16	札幌市
12	乾燥設備作業主任者技能講習	山口 剛典	作物生産	2024/11/6–7	札幌市
13	農福連携技術支援者育成講習	山口 剛典	作物生産	2024/11/12–15	札幌市
14	教職員合同視察研修	作物 ST 技師全員	作物生産	2024/12/17	岩見沢市 長沼町
15	第 8 回北海道肉牛研究会大会	河野 仁	肉畜生産	2024/12/18–19	旭川市
16	スマート農業推進フォーラム	清野 貴志	作物生産	2024/12/19	帯広市
17	農副連携フォローアップセミナー	山口 剛典	作物生産	2025/2/21	札幌市（オンライン）
18	令和 6 年度耕畜連携推進セミナー	清野 貴志	作物生産	2025/3/14	札幌市



## II. 教育・研究・エクステンション活動

## II-1 教育利用申請状況

### 【酪農生産ステーション】

番号	授業科目名	学類・学年等	申請者	履修者(人)
1	特別演習「生命の誕生」(北海道科学大学との包括連携協定に基づく科目)	その他	中辻浩喜 家畜栄養学研究室	3
2	実践酪農学演習	循環農学類1年	三枝俊哉 草地・飼料生産学研究室	6
3	家畜管理・栄養学実験	循環農学類3年	三枝俊哉 草地・飼料生産学研究室	115
4	専門ゼミナール、卒業研究	循環農学類3・4年	三枝俊哉 草地・飼料生産学研究室	10
5	実践野生動物学実習	環境共生学類3年	小川健太 環境空間情報学研究室	50
6	実践生命環境学実習	環境共生学類3年	小川健太 環境空間情報学研究室	50
7	生産動物医療学演習I・演習II	獣医学類4年	中田健 動物生殖学ユニット	9
8	伴侶動物臨床学実習A	獣医学類3年	平田晴之 獣医臨床病理学ユニット	140
9	ハードヘルス学実習	獣医学類5年	及川伸 ハードヘルス学ユニット	130
10	総合衛生学実習I	獣医学類4年	及川伸 ハードヘルス学ユニット	135
11	健土健民・獣医学入門実習	獣医学群1年	佐野悠人 獣医病理学ユニット	180
12	家畜管理・栄養学実験	循環農学類3年	森田茂 家畜管理・行動学研究室	30
13	家畜管理・栄養学実験II(再)	循環農学類3年	森田茂 家畜管理・行動学研究室	3
14	専門ゼミナールI	循環農学類3年	森田茂 家畜管理・行動学研究室	7
15	乳用家畜飼養学実習	循環農学類3年	森田茂 家畜管理・行動学研究室	40
16	家畜管理・栄養学実験	循環農学類3年	森田茂 家畜管理・行動学研究室	30
17	家畜管理・栄養学実験	循環農学類3年	西寒水将 家畜生産改良学研究室	126
18	課題研究	とわの森三愛高校生	西川謙 とわの森三愛高等学校	9
19	健土健民・獣医学入門実習	獣医学群1年	渡邊敬文 獣医解剖学ユニット	180
20	衛生環境学実習	獣医学類5・6年	福森理加 ハードヘルス学ユニット	17
21	ハードヘルス学実習	獣医学類5年	福森理加 ハードヘルス学ユニット	135
22	総合衛生学実習III	獣医学類4年	福田昭 食品衛生学ユニット	160
23	食品衛生学実習	獣医学類3年	福田昭 食品衛生学ユニット	160
24	実践野生動物学実習	環境共生学類3年	保原達 生態系物質循環研究室	60
25	実践生命環境学実習	環境共生学類3年	保原達 生態系物質循環研究室	60
26	生命環境学実験実習I	環境共生学類3年	保原達 生態系物質循環研究室	40
27	動物ハンドリング実習	獣医学類1年 獣医看護学類1年	林英明 動物生命科学ユニット	210
28	生産動物飼養管理学	獣医看護学類4年	林英明 動物生命科学ユニット	8
29	土壤・作物栄養学実験	循環農学類3年	澤本卓治 土壤環境学研究室	60
30	健土健民入門実習	農食環境学群1年	教育センター教務課	580
31	健土健民入門実習編入生プログラム(酪農・搾乳)	編入生	教育センター教務課	15

## 【肉畜生産ステーション】

番号	授業科目名	学類・学年等	申請者	履修者(人)
1	肉用家畜飼養学実習	循環農学類3年	菊佳男 畜産衛生学研究室	45
2	実践酪農学演習	循環農学類1年	三枝俊哉 草地・飼料生産学研究室	6
3	肉用家畜飼養学実習	循環農学類3年	三枝俊哉 草地・飼料生産学研究室	60
4	家畜管理・栄養学実験	循環農学類3年	山田未知 中小家畜飼養学研究室	119
5	健土健民入門実習	循環農学類1年	山田未知 中小家畜飼養学研究室	98
6	健土健民入門実習	循環農学類1年	西寒水将 家畜生産改良学研究室	321
7	肉用家畜飼養学実習	循環農学類3年	西寒水将 家畜生産改良学研究室	50
8	肉用家畜飼養学実習	循環農学類3年	中辻浩喜 家畜栄養学研究室	43
9	肉用家畜飼養学実習	循環農学類3年	天野朋子 家畜遺伝学研究室	46
10	肉用家畜飼養学実習	循環農学類3年	土井和也 家畜飼料科学研究室	42
11	家畜生理解剖学実習	循環農学類2年	植田弘美 獣医解剖学ユニット	100
12	感染病理学実習	獣医学類5・6年	松田一哉 獣医病理学ユニット	11
13	感染病理学演習Ⅰ	獣医学類4年	松田一哉 獣医病理学ユニット	11
14	病院実習専修コース（総合病理実習）	獣医学類5年	松田一哉 獣医病理学ユニット	50
15	馬・中小家畜臨床学	獣医学類5年	菅野美樹夫 ハードヘルスユニット	3
16	クリニカルローテーション	獣医学類5年	大谷新太郎 動物生殖学ユニット	124
17	健土健民・獣医学入門実習	獣医学群1年	渡邊敬文 獣医解剖学ユニット	180
18	生産動物飼養管理学	獣医保健看護学類4年	林英明 動物生命科学研究室	8
19	総合演習	とわの森三愛高校生	西川謙 とわの森三愛高等学校	45
20	健土健民入門実習	農食環境学群1年	教育センター教務課	580
21	健土健民入門実習編入生プログラム（中小家畜）	編入生	教育センター教務課	15

## 【作物生産ステーション】

番号	授業科目名	学類・学年等	申請者	履修者(人)
1	園芸学実習	循環農学類3年	園田高広 農場生態学研究室	70
2	作物育種学実験	循環農学類3年	岡本吉弘 植物育種学研究室	65
3	作物栽培学実習	循環農学類3年	林怜史 栽培学研究室	60
4	専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	循環農学類3・4年	林怜史 栽培学研究室	4
5	作物栽培学実習、卒論研究	循環農学類3・4年	義平大樹 作物学研究室	60
6	専門ゼミナールⅠ	循環農学類3年	義平大樹 作物学研究室	4
7	実践酪農学演習	循環農学類1年	義平大樹 作物学研究室	20
8	家畜管理・栄養学実験	循環農学類3年	義平大樹 作物学研究室	140
9	作物栽培学実習	循環農学類3年	義平大樹 作物学研究室	85
10	家畜管理・栄養学実験	循環農学類3年	三枝俊哉 草地・飼料生産学研究室	66
11	専門ゼミナール、卒業研究	循環農学類3・4年	三枝俊哉 草地・飼料生産学研究室	10
12	専門ゼミナール	循環農学類3・4年	山田弘司 人と動物の関係学研究室	12

13	専門ゼミナール、卒業研究、教職応用演習	循環農学類3・4年	志賀聰 農業科教育課程研究室	12
14	農業施設・機械学実習	農食環境学群3年	小宮道士 農業機械システム学研究室	40
15	健土健民入門実習	農食環境学群1年	小八重善裕 作物栄養学研究室	430
16	専門ゼミナール I, II, III, IV	循環農学類3・4年	小八重善裕 作物栄養学研究室	12
17	専門ゼミナール、卒業研究、教職応用演習	教職課程3・4年	志賀聰 農業科教育課程研究室	12
18	農業施設・機械学実習	農食環境学群3年	小宮道士 農業機械システム学研究室	40
19	作物保護学実験 I・II、専門ゼミナール I・II	循環農学類3年	薦田優香 植物病理学研究室	50
20	教職実践演習（中・高1免）	教職課程4年	飛谷淳一 農業科教育研究室	15
21	教職応用演習I、教職インターンシップ	教職課程2年	飛谷淳一 農業科教育研究室	15
22	専門ゼミナール I・II、農業科教育法	教職課程3年	飛谷淳一 農業科教育研究室	40
23	専門ゼミナール I、II	循環農学類3年	廣瀬之彦 農業科環境教育研究室	5
24	調理学実験・実習I	食と健康学類3年	杉村留美子 栄養教育学研究室	33
25	修士論文	酪農学研究科2年	保原 達 生態系物質循環研究室	2
26	総合演習	とわの森三愛高校生	西川謙 とわの森三愛高等学校	399
27	農業と環境（通信制課程）	とわの森三愛高校生	松浦 直哉 とわの森三愛高等学校	30
28	健土健民入門実習	農食環境学群1年	教育センター教務課	580
29	健土健民入門実習編入生プログラム（作物）	編入生	教育センター教務課	15

## II – 2 研究利用申請状況

### 【酪農生産ステーション】

番号	区分	研究題目	申請者	共同研究者
1	受託研究 共同研究	カゲキノリの牛メタン削減等の効果に関する予備研究	菊佳男 畜産衛生学研究室	井坂光宏、福田茂夫、(株)安藤ハザマ
2	卒業論文 修士論文	NMR を用いた乳房炎早期診断技術の開発	菊佳男 畜産衛生学研究室	学生 7 名
3	卒業論文 修士論文	酪農場における乳房炎発生状況	菊佳男 畜産衛生学研究室	学生 7 名
4	卒業論文	核磁気共鳴 (NMR) および種別体細胞数 (DSCC) 測定による乳房炎予測	菊佳男 畜産衛生学研究室	学生 7 名
5	卒業論文 修士論文	乳房炎治療後の NMR (核磁気共鳴) および DSCC (種別体細胞数) の変化	菊佳男 畜産衛生学研究室	学生 3 名
6	卒業論文	寒地型イネ科牧草の生育特性と草地管理	三枝俊哉 草地・飼料生産学研究室	学生 3 名
7	卒業論文	放し飼い牛舎における乳牛の採食・休息行動と社会的関係	森田茂 家畜管理・行動学研究室	学生 2 名
8	その他	食品系バイオマス利用推進のための検討	石川志保 農業施設学研究室	土井和也、宮本駿太郎
9	共同研究	飼料給与量が乳牛呼気由来のメタン産生に及ぼす影響評価-分離給与を対象とした場合-	石川志保 農業施設学研究室	西川謙、土井和也
10	共同研究	バイオガスプラントの熱利用拡大に向けた研究	石川志保 農業施設学研究室	eneoco㈱、(㈱)トーホー
11	卒業論文 共同研究	乳牛メタン排出量のデータ駆動型予測制御	石川志保 農業施設学研究室	林七海、北海道大学、東北大 学、佐世保工業高等専門学 校、横浜国立大学、(㈱)サンア ドバンス
12	共同研究	酪農スラリーの高度肥料利用のための技術開発	石川志保 農業施設学研究室	国立研究開発法人 農業・食 品産業技術総合研究機構 畜 産研究部門(農研機構)、東京 大学
13	卒業論文 受託研究	オーチャードグラス+アルファアルファサイレージの泌乳効果に関する研究	泉賢一 ルミノロジー研究室	JRA 事業 (三枝俊哉、土井和 也)
14	卒業論文 受託研究	バーム抽出物由来マンノビオースの血中および糞中移行に関する研究	泉賢一 ルミノロジー研究室	本田涼馬、日本ニュートリシ ョン
15	卒業論文 受託研究	海藻類を用いた牛第一胃液インピトロ培養におけるメタン発酵抑制に関する研究	泉賢一 ルミノロジー研究室	村山遼人、釧路町、ニッスキ
16	卒業論文	浄化試験	猫本健司 実践農学研究室	杉崎允康
17	卒業論文 共同研究	ホルスタイン乳とジャージー乳の乳脂肪球特性の比較	金田勇 食品物理学研究室	卒論: 大澤省吾 共同研究: 川端庸平、大沼正人
18	共同研究	UAV 空撮による草地の草種構成、草量、地形などの推定に関する研究	小川健太 環境空間情報学研究室	三枝俊哉、国際航業㈱、FRS コーポレーション㈱、(㈱)フォ テク
19	卒業論文 受託研究	モサブリドクエン酸塩 (牛用プロナミド散 2%) の子牛および成牛への給与効果	佐藤綾乃 生産動物外科学ユニット	学生 3 名、物産アニマルヘル ス㈱
20	卒業論文	成乳牛の変形蹄における蹄の生長過程と立脚期の運動解析	佐藤綾乃 生産動物外科学ユニット	
21	卒業論文 個人研究	乳用ホルスタイン牛の蹄形状に対する歩様および蹄角質形成不全が及ぼす影響と削蹄による予防効果の検証	佐藤綾乃 生産動物外科学ユニット	村上高志、石川高明、学生 2 名
22	共同研究	乳汁中の微生物叢解析	秋庭正人 獣医細菌学ユニット	黒田誠 (国立感染症研究所)
23	個人研究	牛乳汁の細菌叢の検索	秋庭正人 獣医細菌学ユニット	
24	受託研究	ホルスタイン種哺乳子牛への酪酸菌給与の効果	小千田圭吾 生産動物病態学ユニット	ミヤリサン製薬
25	共同研究	雌牛の臍および子宮の菌叢にピフィズス菌が与える効果の検討	杉浦智親 動物生殖学ユニット	ミヤリサン製薬、食品衛生学 ユニット (白井、福田)
26	卒業論文 個人研究	分娩後 3 週目の乳牛子宮に対する早期治療がその後の生殖器回復ならびに受胎性に及ぼす効果の検討	杉浦智親 動物生殖学ユニット	学生 5 名
27	卒業論文 個人研究	雌牛の子宮内膜機能調節に関する研究	杉浦智親 動物生殖学ユニット	学生 6 名
28	卒業論文	乳牛由来 Coxiella burnetii 分離菌株の性状調査	村松康和 人獣共通感染症学ユニット	
29	受託研究	蹄バンド「ダーマシールド」の蹄病 (DD) 予防効果に関する研究	村上高志 生産動物外科ユニット	GEA オリオンファームテク ノロジーズ㈱
30	共同研究	抗菌性粘着フィルムの乳房炎予防効果および蹄病治療効果の検討	村上高志 生産動物外科ユニット	北海道曹達㈱、凸版印刷㈱、 大竹彩花
31	卒業論文	削蹄時の蹄病スコアリング	村上高志 生産動物外科ユニット	佐藤綾乃、石川高明、大竹彩 花、学生 20 名

32	共同研究	抗ウイルス・除菌用紫外線技術による趾皮膚炎の治療効果	村上高志 生産動物外科ユニット	ウシオ電機(株)、学生 20 名、教員 4 名
33	共同研究	牛削蹄支援システムの開発	村上高志 生産動物外科ユニット	鈴木一由、岡田啓司(岩手大学)、佐々木誠(岩手大学)等
34	共同研究	自動跛行検知システムの開発	村上高志 生産動物外科ユニット	(株)インテック
35	卒業論文	牛の分娩における母子モニタリングシステムの構築に関する研究	村上高志 生産動物外科ユニット	佐藤綾乃、石川高明、大竹彩花、学生 1 名
36	共同研究	牛の酸化ストレス評価のためのコントロールサンプルの採取	都築直 獣医臨床病理学ユニット	村上高志、佐藤綾乃
37	卒業論文	アミノ酸がウシ好中球の免疫応答に及ぼす影響	樋口豪紀 獣医衛生学ユニット	
38	卒業論文 共同研究	乳用子牛における初乳製剤の希釀濃度が免疫グロブリンの吸収効率および消化管透過性に及ぼす影響の解析	福森理加 ハードヘルス学ユニット	全酪連、泉賢一、藤井伶奈
39	共同研究	カセンサによる子牛の吸啜行動の測定	福森理加 ハードヘルス学ユニット	西恵理(摂南大学)
40	卒業論文 個人研究	牛群及び牛個体情報による周産期疾病リスク要因の探索と発生低減方法に関する研究	福田茂夫 生産動物病態学ユニット	小千田圭吾他
41	卒業論文	乾乳期から泌乳期にかけて乳牛への生菌剤長期給与がストレス・泌乳に与える影響	林英明 動物生命科学ユニット	菊地、土永、田崎、阪口、白垣、竹広、陳、小沼、渡邊

### 【肉畜生産ステーション】

番号	区分	研究題目	申請者	共同研究者
1	共同研究 その他	肉牛農場における飼養管理および繁殖管理データの収集蓄積	今井敬 動物生殖工学研究室	家畜繁殖学および家畜改良生産学研究室
2	共同研究	寒地型イネ科牧草の生育特性と草地管理	三枝俊哉 草地・飼料生産学研究室	雪印種苗(株) 谷口大樹(北海道研究農場)
3	卒業論文 修士論文	黒毛和種子牛の 60 日間人工哺乳が発育に及ぼす影響	西寒水将 家畜生産改良学研究室	安井晴、谷川未菜、ファームエイジ(株)
4	卒業論文	ウシにおける行動制御のための効率的な刺激要因の検討(継続)	西寒水将 家畜生産改良学研究室	宅間加鈴
5	卒業論文	黒毛和種子牛への甘草給与が発育に及ぼす影響	西寒水将 家畜生産改良学研究室	北爪萌季
6	卒業論文 共同研究	全方位センサーを用いた牛の分娩開始告知技術の開発に関する研究	西寒水将 家畜生産改良学研究室	(株)コムテック
7	卒業論文	自然哺乳および早期離乳が黒毛和種の分娩後の繁殖機能回復に及ぼす影響	堂地修 家畜繁殖学研究室	前田龍馬、谷川未菜、福田侑美
8	修士論文	黒毛和種哺乳子牛へのプロバイオティクス(発酵添加剤) 添加が発育に及ぼす影響	堂地修 家畜繁殖学研究室	谷内田春奈、谷川未菜、片岡妃奈、福田侑美、北爪萌季、安井晴、田中阜暉
9	卒業論文	黒毛和種における春機発動前後から性成熟期の卵胞発育および黄体形成に関する調査	堂地修 家畜繁殖学研究室	仲岡杏梨、谷川未菜、片岡妃奈、福田侑美
10	卒業論文	黒毛和種子牛への早刈り牧草サイレージの給与が発育に及ぼす影響	堂地修 家畜繁殖学研究室	長谷川晃生、谷川未菜、片岡妃奈、福田侑美
11	共同研究	UAV 空撮による草地の草種構成、草量、地形などの推定に関する研究	小川健太 環境空間情報学研究室	三枝俊哉、国際航業(株)、FRSコーポレーション(株)、(株)フォテク
12	共同研究	高酸化水による環境微生物の不活化効果	萩原克郎 獣医ウイルス学ユニット	(株)レドックステクノロジー片山昌彦、学生 2 名
13	卒業論文	肉牛由来 <i>Coxiella burnetii</i> 分離菌株の性状調査	村松康和 人獣共通感染症学ユニット	成田駿

### 【作物生産ステーション】

番号	区分	研究題目	申請者	共同研究者
1	卒業論文 受託研究	北海道における作物病害の防除法の開発	園田高広 農場生態学研究室	牧野一茶、北海道植物防疫協会 田中文夫
2	卒業論文 共同研究	アスパラガス野生種および種間雑種系統の疫病抵抗性評価	園田高広 農場生態学研究室	佐藤麗弥、菅野明(東北大)
3	卒業論文	土壤水分量および塩水処理がアスパラガスの生育、収量および食味関連要素に及ぼす影響	園田高広 農場生態学研究室	玉川結友、上野敬司
4	卒業論文	次世代のアスパラガス生産を担う良質多収品種の開発(2.5 次選抜)	園田高広 農場生態学研究室	林さくら
5	卒業論文	アスパラガスにおける簡易雨よけ高設栽培の開発(2.5 次選抜)	園田高広 農場生態学研究室	福島拓歩
6	卒業論文	アスパラガスにおけるさび症状の発生消長および発生要因の解明と品種間差異	園田高広 農場生態学研究室	川端力、佐藤麗弥
7	卒業論文	アスパラガス高畦栽培における適正系統の選抜	園田高広 農場生態学研究室	高橋尚之
8	卒業論文 受託研究	EPS 育苗システムがブロックリーフの苗質および生育と収量に及ぼす影響	園田高広 農場生態学研究室	林さくら、トーホー工業

9	個人研究 その他	イネの遺伝解析材料の育成	岡本吉弘 植物育種学研究室	
10	共同研究	イネの薬培養効率の改善研究	岡本吉弘 植物育種学研究室	貴島祐治（北海道大学農学院）
11	卒業論文 修士論文 博士論文 共同研究	栽植様式および栽植密度がアズキの収量および耐倒伏性関連形質に及ぼす影響	義平大樹 作物学研究室	松井俊樹、佐々木壱、黒瀬大地、佐々木楓花
12	卒業論文 修士論文 博士論文 共同研究 受託研究	マメ類、トウモロコシ類、ムギ類の生育および収量調査、ヒンメリ用のムギわらの保存	義平大樹 作物学研究室	松井俊樹、佐々木壱、黒瀬大地
13	卒業論文 修士論文 博士論文 共同研究 受託研究	オープンキャンパス、作物栽培学実習、畑作物栽培学、草地・飼料作物学、実践酪農学演習II	義平大樹 作物学研究室	松井俊樹、佐々木壱、黒瀬大地
14	卒業論文 修士論文 博士論文 共同研究 受託研究	ムギ類、マメ類の脱穀のための乾燥および、脱穀作業	義平大樹 作物学研究室	宮崎早花
15	卒業論文 修士論文 博士論文 共同研究 受託研究	植物遺伝資源、一部実験サンプルの保存	義平大樹 作物学研究室	松井俊樹、佐々木壱、黒瀬大地
16	卒業論文 修士論文 博士論文 共同研究	秋播性ライムギにおける短稈および多収性育種に関する研究	義平大樹 作物学研究室	松井俊樹、佐々木壱、黒瀬大地
17	卒業論文 修士論文 博士論文 共同研究	北海道育成春播コムギ「春よ恋」に対する植物活性剤マリンインパクトの施用時期が収量・生育に及ぼす影響	義平大樹 作物学研究室	松井俊樹、佐々木壱、黒瀬大地
18	卒業論文 修士論文 博士論文 共同研究 受託研究	植物遺伝資源、一部実験サンプルの保存	義平大樹 作物学研究室	松井俊樹、黒瀬大地、佐々木壱
19	卒業論文 修士論文 博士論文 共同研究	トウモロコシ 2 粒播栽植密度試験	義平大樹 作物学研究室	松井俊樹、佐々木壱、黒瀬大地、吉田和史、鎌田拓真、今啓人（道総研）
20	卒業論文 共同研究	マメ類(ダイズ、アズキ、インゲンマメ)の収量調査前の乾燥	義平大樹 作物学研究室	佐々木壱 松井俊樹 黒瀬大地 梶田路津子 櫻本蒼大 春日響 佐々木楓花
21	卒業論文 修士論文 博士論文 共同研究	分枝可塑性の異なるダイズ品種に対する Twinrow および狭畦栽培が生育・収量に及ぼす影響	義平大樹 作物学研究室	松井俊樹、黒瀬大地、櫻本蒼太、岡田文太
22	卒業論文 修士論文 博士論文 共同研究 受託研究	各種圃場栽培試験	義平大樹 作物学研究室	松井俊樹、佐々木壱、黒瀬大地
23	卒業論文 修士論文 博士論文 共同研究 受託研究	肥料の保管	義平大樹 作物学研究室	松井俊樹、佐々木壱、黒瀬大地
24	卒業論文 修士論文 博士論文	ホウ素および鉄・亜鉛の施用がインゲンマメ在来種の収量および子実成分に及ぼす影響	義平大樹 作物学研究室	梶田路津子、松井俊樹、佐々木壱
25	修士論文	ホウ素の施用量がアズキおよびインゲンマメの収量および収量構成要素に及ぼす影響	義平大樹 作物学研究室	佐々木壱、松井俊樹、黒瀬大地、梶田路津子
26	卒業論文 修士論文 博士論文	ダイズに対する時期別遮光処理が Twinrow 栽培による増収効果に及ぼす影響	義平大樹 作物学研究室	松井俊樹、黒瀬大地、佐々木壱、櫻本蒼大
27	卒業論文 修士論文 博士論文 共同研究	北海道およびカナダ育成ダイズにおける分枝可塑性の品種間差異	義平大樹 作物学研究室	松井俊樹、佐々木壱、黒瀬大地

28	卒業論文	寒地型イネ科牧草の生育特性と草地管理、寒地型放牧草地における土-草-牛の養分循環と草地管理	三枝俊哉 草地・飼料生産学研究室	畠央介、辰野未瑠、鈴木伶那
29	卒業論文	寒地型イネ科牧草の生育特性と草地管理	三枝俊哉 草地・飼料生産学研究室	畠央介、辰野未瑠、鈴木伶那
30	卒業論文	酪農学園育成ユリの増殖	森志郎 園芸学研究室	高橋優之介
31	卒業論文	遺伝資源植物の保護とその利用	森志郎 園芸学研究室	高橋優之介、村上美月
32	卒業論文	カーネーションにおける環境制御技術の開発	森志郎 園芸学研究室	水野有梨、松前開斗
33	卒業論文	スターチスの倍数性育種	森志郎 園芸学研究室	南澤葵
34	卒業論文 個人研究	植物病原体に関する研究	薦田優香 植物病理学研究室	今成智咲、白石彩実、浅沼祐紀、金子大樹
35	卒業論文	ブドウ葉及びブドウ枝の有効活用に関する研究	阿部茂 農産資源科学研究室	農産資源科学ユニット 3・4 年生、ワインサークル ROWP 学生 (30 名)
36	卒業論文 修士論文 個人研究	豆類、ゴマの抗酸化機能について	大谷克城 臨床栄養学研究室	大学院生 (籠山真衣、鴨崎秋美、野澤京司)、学生未定
37	修士論文	シカの被害度および収量調査	伊藤哲治 野生鳥獣管理学研究室	金井大地、義平大樹
38	卒業論文	電気柵設置によるシカ圃場侵入対策の検証	伊藤哲治 野生鳥獣管理学研究室	金井大地、中村洸太
39	卒業論文	シカおよびアライグマの利用状況および捕獲調査	伊藤哲治 野生鳥獣管理学研究室	金井大地、比嘉洋太

## II - 3 エクステンション等利用申請状況

### 【酪農生産ステーション】

番号	利 用 目 的	申 請 者	期 間
1	家畜（牛）人工授精師講習会、家畜（牛）体内・体外受精卵移植講習会	吉岡崇 教育センター	2024/4/1～10/31
2	とわの森三愛高校生徒対象のキャンパスツアード	岡山翔太 入試広報課	2024/5/9
3	とわの森三愛高校生徒対象のキャンパスツアード	岡山翔太 入試広報課	2024/5/15
4	オープンキャンパス・見学イベント	花木凌 入試広報課	2024/6/30、7/20、21、9/28、2025/3/22
5	白樺祭	佐藤雄平 事務局農事課	2024/7/6、7
6	酪農学園大学体験講座	可香谷亜有美 地域連携課	2024/8/6
7	酪農学園大学キャンパスツアード	可香谷亜有美 地域連携課	2024/8/20
8	立命館慶祥高校との交流授業	野村正裕 地域連携課	2024/8/19
9	雪印メグミルク株式会社における新人研修	佐藤雄平 事務局農事課	2024/8/27、28、9/3、4、5、6、11、12
10	令和6年度内部・中央審査研究会	佐藤雄平 事務局農事課	2024/9/23～27
11	2級牛剖蹄師認定講習会	廣田政則 キャリアセンター	2024/10/16～17
12	大学見学（江別第二中学校）	岡山翔太 入試広報課	2024/10/24
13	学校見学対応	花木凌 入試広報課	2024/10/25
14	第12回乳牛改良・審査のサクセッサープログラム	西寒水将 家畜生産改良学研究室	2024/10/29～31
15	北海道牛剖蹄研修会	村上高志 生産動物外科学ユニット	2024/10/31～11/1
16	大学案内の撮影	花木凌 入試広報課	2024/12/3

### 【作物生産ステーション】

番号	利 用 目 的	申 請 者	期 間
1	オープンキャンパス・見学イベント	花木凌 入試広報課	2024/6/30、7/20、21、9/28、3/22
2	本学進学希望者による大学見学	岡山翔太 入試広報課	2024/7/17
3	イオン北海道における黒毛和種肥育牛の取材	西寒水将 家畜生産改良学研究室	2024/7/25
4	令和6年度中央畜産会臨床実習研修（家畜衛生対策推進協議会 臨床実習等支援事業（事務局：中央畜産会）	大谷新太郎 動物生殖学ユニット	2024/8/20
5	アニマドーレ in 酪農学園大学	野村正裕 地域連携課	2024/8/24
6	元野幌・肉牛施設の見学	野村正裕 地域連携課	2024/9/29
7	江別市「えみくる」での除草目的の繫牧	土井和也 家畜飼料学研究室	2024/10/1
8	100周年記念事業 将来ビジョン開発プロジェクトインサート動画の撮影	菅昌弘 情報政策局	2024/10/15
9	大学案内の撮影	花木凌 入試広報課	2024/11/27

## II-4 研究利用成果

【酪農生産ステーション】

番号	研究題目	申請者	共同研究者	利用成果
1	寒地型イネ科牧草の生育特性と草地管理（成長に伴う栄養価の推移からみたオーチャードグラス「えさじまん」の品種特性）	三枝俊哉 草地・飼料生産学研究室		【卒業論文】 発表題目：寒地型イネ科牧草の生育特性と草地管理（成長に伴う栄養価の推移からみたオーチャードグラス「えさじまん」の品種特性） 発表者：畠中介
2	寒地型放牧草地における土一草一牛の養分循環と草地管理（ヒツジの放牧計画に基づく施肥設計法の実証；ウマの放牧計画に基づく施肥設計法の実証）	三枝俊哉 草地・飼料生産学研究室		【卒業論文】 発表題目：寒地型放牧草地における土一草一牛の養分循環と草地管理（ヒツジの放牧計画に基づく施肥設計法の実証；ウマの放牧計画に基づく施肥設計法の実証） 発表者：鈴木伶那、辰野未瑠
3	乳用ホルスタイン牛の蹄形状に対する歩様および蹄角質形成不全が及ぼす影響と削蹄による予防効果の検証	佐藤綾乃 生産動物外科学ユニット	村上高志、石川高明 梅沢凌聖（獣医5年）、有村美穂（獣医5年）	【学会等】 学会名：護蹄研究会（2025年度のため以下予定） 発表日：2025/08/23 発表者：梅沢凌聖、有村美穂
4	成乳牛の変形蹄における蹄の生長過程と立脚期の運動解析	佐藤綾乃 生産動物外科学ユニット	村上高志、石川高明、増岡直希	【学会等】 学会名：令和6年度北海道獣医師会三学会・護蹄研究会 発表日：2024/08/29 発表題目：成乳牛における変形蹄と正常蹄の立脚期運動様式と蹄形状の比較 発表者：増岡直希、藤岡虎之将、安里日花、庄野朱音、村上高志、石川高明、大竹彩花、安富一郎、佐藤綾乃
5	モサブリドクエン酸塩（馬用プロナミド散1%）の子牛および成牛への給与効果	佐藤綾乃 生産動物外科学ユニット	村上高志、石川高明、中尾梨乃、大友琉生、物産アニマルヘルス㈱	【学会等】 学会名：日本獣医師会（予定） 発表日：2025/11/25 発表者：佐藤綾乃
6	アミノ酸がウシ好中球に及ぼす影響	権平智 獣医衛生学ユニット		【卒業論文】 発表題目：アミノ酸がウシ好中球に及ぼす影響 発表者：氷見若菜
7	乳汁中の微生物叢解析	秋庭正人 獣医細菌学ユニット	黒田誠（熊本保健科学大学）	【その他】 発表題目：乳汁中の微生物叢解析 発表者：秋庭正人
8	分娩後3週目の乳牛子宮に対する早期治療がその後の生殖器回復ならびに受胎性に及ぼす効果の検討	杉浦智親 動物生殖学ユニット	大崎光仁、梶岡春花、阿部茜、野澤薫子、山城真緒	【学会等】 学会名：第73回北海道獣医師大会・令和6年度北海道地区学会 発表日：2024/08/29 発表題目：分娩後3週目の乳牛における子宮修復に対するエストロジェン製剤または2%ヨード剤の治療効果 発表者：大塚留希、鈴木眞理亞、船津望、米山伸、菰田あい、石井良康、松永隆仁、後藤政樹、中田健、杉浦智親
9	雌牛の子宮内膜機能調節に関する研究	杉浦智親 動物生殖学ユニット	大上來世紀、清水純奈、山村瑞穂、森本えみり、田村亞久里、大塚留希	【学会等】 学会名：日本獣医学会学術集会 発表日：2024/09/12 発表題目：発情期における牛子宮内膜厚調節関連因子と子宮内膜上皮成長因子との関係 発表者：大上來世紀、片桐成二、奥山みなみ、中田健、杉浦智親
10	雌牛の腔および子宮の菌叢にビフィズス菌が与える効果の検討	杉浦智親 動物生殖学ユニット	白井優、福田昭、工藤速美（ミヤリサン製薬）	【学会等】 学会名：日本獣医学会学術集会 発表日：2024/09/10 発表題目：乳牛の子宮内膜炎原因菌に対するプロバイオティクス候補株の探索 発表者：小林実桜子、杉浦智親、福田昭、工藤速美、白井優
11	蹄バンド「ダーマシールド」の蹄病(DD)予防効果に関する研究	村上高志 生産動物外科学ユニット	GEA オリオンファームテクノロジーズ㈱	【その他】 発表題目：蹄バンド「ダーマシールド」の蹄病(DD)予防効果に関する研究 発表者：村上高志
12	自動跛行検知システムの開発	村上高志 生産動物外科学ユニット	(株)インテック	【その他】 発表題目：自動跛行検知システムの開発 発表者：村上高志
13	削蹄時の蹄病スコアリング	村上高志 生産動物外科学ユニット	佐藤綾乃、石川高明、大竹彩花、安里日花、大友琉生、庄野朱音、中尾梨乃、藤岡虎之将、増岡直希、上原穂乃佳、梅沢凌聖、有村美穂、飯野太郎、塙田玲央、八重樫滉信、久保晴暉、野坂歩、前田しづく、浅原彩乃	【その他】 発表題目：削蹄時の蹄病スコアリング 発表者：佐藤綾乃、石川高明、大竹彩花
14	抗菌性粘着フィルムの乳房炎予防効果および蹄病治療効果の検討	村上高志 生産動物外科学ユニット	大竹彩花、TOPPAN㈱、北海道曹達㈱	【その他】 発表題目：抗菌性粘着フィルムの乳房炎予防効果および蹄病治療効果の検討 発表者：村上高志、大竹彩花

15	牛の分娩における母子モニタリングシステムの構築に関する研究	村上高志 生産動物外科学ユニット	佐藤綾乃、石川高明、大竹彩花、藤岡虎之将	【学会等】 学会名：日本家畜臨床学会 発表日：2024/11/16 発表題目：妊娠後期牛における胎子心エコー検査を用いた胎子診断と発育評価 発表者：藤岡虎之将
16	乳牛健全性向上に向けた生乳分析高度化に関する研究	福森理加 ハードヘルス学ユニット	森田茂、土井和也、朝隈貞樹、三谷朋宏	【学会等】 学会名：日本畜産学会 発表日：2025/09/13 発表題目：FT-IR 乳成分測定装置を用いた酪農家バルク乳からの飼養評価指標の予測 発表者：三谷朋宏、國本瑞貴、小松雅也、篠田優香、朝隈貞樹、上田靖子、小林国之、實成信博、土井和也、福森理加、森田茂、上田宏一郎
17	牛群及び牛個体情報による周産期疾病リスク要因の探索と発生低減方法に関する研究	福田茂夫 生産動物病態学ユニット	小千田圭吾、遠近未季、横山成美、花草心彩、佐藤旭、須田萌子、武田萌花	【学会等】 学会名：大動物臨床研究会東京シンポジウム 発表日：2025/03/01 発表題目：一酪農場における牛サルモネラ症発生事例 発表者：福田茂夫
18	UAV 空撮による草地の草種構成、草量、地形などの推定に関する研究	小川健太 環境空間情報学研究室	三枝俊哉、国際航業㈱、FRSコーポレーション㈱、(株)フォテク	【学会等】 学会名：大動物臨床研究会特別セミナー 発表日：2024/05/10 発表題目：酪農畜産におけるローンの現状と展望～動物モニタリングにおけるローン利活用の事例紹介 発表者：小川健太

### 【肉畜生産ステーション】

番号	研究題目	申請者	共同研究者	利用成果
1	肉牛農場における飼養管理および繁殖管理データの収集蓄積	今井敬 動物生産工学研究室	堂地修、西寒水将、福田侑美、松尾祥矢、小野寺大斗、佐々木悠成、谷本哲太、山崎一穂、長谷部漣人、皆川岳輝、佐久間烈、三井恭平、三浦聖亮	【卒業論文】 発表題目：黒毛和種の仙坐韌帶および外陰部の形態変化による分娩予知 発表日：2025/01/18 発表者：松尾祥矢
2	酪酸菌添加飼料給与が離乳仔豚の発育、血液成分および腸内細菌叢に及ぼす影響（委託研究）	山田未知 中小家畜飼養学研究室	福田茂夫、(株)微生物化学研究所	
3	ストール飼育から昼間群飼育を組み入れた飼育方式への移行経過日数が繁殖雌豚の行動およびストレス指標物質の推移に及ぼす影響	山田未知 中小家畜飼養学研究室		【卒業論文】 発表題目：ストール飼育から昼間群飼育を組み入れた飼育方式への移行経過日数が繁殖雌豚の行動およびストレス指標物質の推移に及ぼす影響 発表者：東誠
4	妊娠期における繁殖雌豚の飼養形態の違いが分娩房移動後経過日数に伴う行動変化と分娩状況に及ぼす影響	山田未知 中小家畜飼養学研究室		【卒業論文】 発表題目：妊娠期における繁殖雌豚の飼養形態の違いが分娩房移動後経過日数に伴う行動変化と分娩状況に及ぼす影響 発表者：金子友楽
5	ペットボトルブレンド茶粕サイレージ添加飼料給与がブタの発育および産肉に及ぼす影響	山田未知 中小家畜飼養学研究室		【卒業論文】 発表題目：ペットボトルブレンド茶粕サイレージ添加飼料給与がブタの発育および産肉に及ぼす影響 発表者：倉部絢乃
6	生菌入り混合飼料給与が離乳仔豚の発育、血液成分および腸内細菌叢に及ぼす影響	山田未知 中小家畜飼養学研究室	福田茂夫、(株)微生物科学研究所	
7	黒毛和種子牛の 60 日間人工哺乳が発育に及ぼす影響	西寒水将 家畜生産改良学研究室		【卒業論文】 発表題目：黒毛和種子牛の 60 日間人工哺乳が発育に及ぼす影響 発表者：安井晴
8	全方位センサーを用いた牛の分娩開始告知技術の開発に関する研究	西寒水将 家畜生産改良学研究室	堂地修、今井敬、田中卓暉、仲岡杏梨、安井晴、福田侑美、谷川未菜、片岡妃奈、(株)コムテック	
9	黒毛和種子牛への甘草給与が発育に及ぼす影響	西寒水将 家畜生産改良学研究室		【卒業論文】 発表題目：黒毛和種子牛への甘草給与が発育に及ぼす影響 発表者：北爪萌季
10	ウシにおける行動制御のための効率的な刺激要因の検討（継続）	西寒水将 家畜生産改良学研究室		【卒業論文】 発表題目：ウシにおける行動制御のための効率的な刺激要因の検討（継続） 発表者：宅間加鈴
11	黒毛和種における春機発動前後から性成熟期の卵胞発育および黄体形成に関する調査	堂地修 家畜繁殖学研究室		【卒業論文】 発表題目：黒毛和種における春機発動前後から性成熟期の卵胞発育および黄体形成 発表者：仲岡杏梨、谷川未菜、片岡妃奈、福田侑美

12	黒毛和種哺乳子牛へのプロバイオティクス（発酵添加剤）添加が発育に及ぼす影響	堂地修 家畜繁殖学研究室		【卒業論文】 発表題目：黒毛和種哺乳子牛へのプロバイオティクス（発酵添加剤）添加が発育に及ぼす影響 発表者：谷内田春奈、谷川未菜、片岡妃奈、福田侑美、北爪萌季、安井晴、田中阜暉
13	自然哺乳および早期離乳が黒毛和種の分娩後の繁殖機能回復に及ぼす影響	堂地修 家畜繁殖学研究室		【卒業論文】 発表題目：自然哺乳および早期離乳が黒毛和種の分娩後の繁殖機能回復に及ぼす影響 発表者：前田龍馬、谷川未菜、福田侑美
14	早刈りサイレージを子牛に与えて発育に及ぼす影響を調べる	堂地修 家畜繁殖学研究室		【卒業論文】 発表題目：早刈りサイレージを子牛に与えて発育に及ぼす影響を調べる 発表者：長谷川晃生、谷川未菜、片岡妃奈、福田侑美

### 【作物生産ステーション】

番号	研究題目	申請者	共同研究者	利用成果
1	秋播性および春播性コムギ品種に対する窒素固定菌「N-Catch」の施用が子実収量、収量関連形質に及ぼす影響	義平大樹 作物学研究室		【卒業論文】 発表題目：秋播性および春播性コムギ品種に対する窒素固定菌「N-Catch」の施用が子実収量、収量関連形質に及ぼす影響 発表者：高橋涼太
2	子実用トウモロコシに対する2粒播栽培の増収効果に及ぼす栽植密度の影響	義平大樹 作物学研究室		【卒業論文】 発表題目：子実用トウモロコシに対する2粒播栽培の増収効果に及ぼす栽植密度の影響 発表者：吉田和史
3	子実用トウモロコシに対する2粒播栽培の増収要因－成長解析からみた要因－	義平大樹 作物学研究室		【卒業論文】 発表題目：子実用トウモロコシに対する2粒播栽培の増収要因－成長解析からみた要因－ 発表者：鎌田拓真
4	秋播性ライムギにおける短稈および多収性育種に関する研究	義平大樹 作物学研究室		【卒業論文】 発表題目：秋播性ライムギにおける短稈および多収性育種に関する研究 発表者：岡田文太、松井俊樹、佐々木壱、黒瀬大地
5	目栽植様式および栽植密度がアズキの収量および耐倒伏性関連形質に及ぼす影響	義平大樹 作物学研究室		【修士論文】 発表題目：目栽植様式および栽植密度がアズキの収量および耐倒伏性関連形質に及ぼす影響 発表者：佐々木壱、松井俊樹
6	ダイズ品種の受光態勢および栽培環境条件が、Twin row および狭畦栽培の増収効果に及ぼす影響	義平大樹 作物学研究室		【修士論文】 発表題目：ダイズ品種の受光態勢および栽培環境条件が、Twin row および狭畦栽培の増収効果に及ぼす影響 発表者：黒瀬大地
7	アズキに対する栽植様式の改良による増収効果と、栽植密度反応および受光態勢の品種間差異との関係	義平大樹 作物学研究室		【修士論文】 発表題目：アズキに対する栽植様式の改良による増収効果と、栽植密度反応および受光態勢の品種間差異との関係 発表者：佐々木壱
8	Varietal Differences in Simplified estimation of Branching elasticity and Relationship to Seed Yield and Yield Stability in Soybean Adapted to Hokkaido Northern Japan – Using Indeterminate 20 Cultivars and Determinate 18 Cultivars-	義平大樹 作物学研究室		【博士論文】 発表題目：Varietal Differences in Simplified estimation of Branching elasticity and Relationship to Seed Yield and Yield Stability in Soybean Adapted to Hokkaido Northern Japan – Using Indeterminate 20 Cultivars and Determinate 18 Cultivars- 発表者：松井俊樹
9	芯止まりトマト品種の露地栽培における土壤保全型防草技術に関する研究	小八重善裕 作物栄養学研究室		【卒業論文】 発表題目：芯止まりトマト品種の露地栽培における土壤保全型防草技術に関する研究 発表者：長谷川大
10	スターチスの倍数性育種	森志郎 園芸学研究室	岡本吉弘、南澤葵、星野洋一郎（北海道大）、八幡昌紀（静岡大）	【学会等】 学会名：2025年度春季園芸学会 発表日：2025/03/20 発表題目：スターチスの倍数体間交雑における異形花型自家不和合性の影響と三倍体の作出 発表者：森志郎、南澤葵、梶嶋和子、田宮亨太、岡本吉弘、八幡昌紀、星野洋一郎
11	カーネーションにおける環境制御技術の開発	森志郎 園芸学研究室	薦田優香、水野有梨、松前開斗、古山真一（県立広島大）、菅原魁人（道総研）、八木雅史（農研機構）、宇野雄一（神戸大）	【学会等】 学会名：2025年度春季園芸学会 発表日：2025/03/20 発表題目：異なる光質の照射がカーネーションの花芽分化およびDcFT1の発現に及ぼす影響 発表者：水野有梨、松前開斗、古山真一、菅原魁人、八木雅史、宇野雄一、薦田優香、森志郎
12	遺伝資源植物の保護とその利用	森志郎 園芸学研究室	我妻尚広、岡本吉弘、村上美月、庵原英郎（札幌市公園緑化協会）	【学会等】 学会名：2024年秋季園芸学会 発表日：2024/11/04 発表題目：北海道内5カ所から採取した果実の生育ステージがスズランの発芽に及ぼす影響 発表者：森志郎、村上美月、庵原英郎、岡本吉弘、我妻尚広

13	ダイズ矮化ウイルス感染種子の吸水後のウイルス残存率と種子伝染について	薦田優香 植物病理学研究室		【卒業論文】 発表題目：ダイズ矮化ウイルス感染種子の吸水後のウイルス残存率と種子伝染について 発表者：浅沼祐紀
14	植物細菌病防除に用いられる抵抗性誘導剤はダイズ矮化ウイルスの増殖を抑制するか	薦田優香 植物病理学研究室		【卒業論文】 発表題目：植物細菌病防除に用いられる抵抗性誘導剤はダイズ矮化ウイルスの増殖を抑制するか 発表者：今成智咲
15	植物病原体に関する研究	薦田優香 植物病理学研究室		【学会等】 学会名：日本植物病理学会北海道部会 発表日：2024/10/13 発表題目：ダイズ矮化ウイルスのキャップ非依存的な翻訳機構における eIF4E の関与の可能性 発表者：薦田（萩原）優香、梅津祐太、岩澤一馬
16	味噌の調製工程における抗酸化機能評価	大谷克城 臨床栄養学研究室		【修士論文】 発表題目：味噌の調製工程における抗酸化機能評価 発表者：鴨崎秋美
17	3種類の米麹を用いて発酵させたゴマ脱脂粕もろみの抗酸化活性の比較	大谷克城 臨床栄養学研究室		【修士論文】 発表題目：3種類の米麹を用いて発酵させたゴマ脱脂粕もろみの抗酸化活性の比較 発表者：野澤京司
18	豆類の抗酸化作用と抗アレルギー作用	大谷克城 臨床栄養学研究室		【修士論文】 発表題目：豆類の抗酸化作用と抗アレルギー作用 発表者：籠山真衣
19	窒素・リン酸減肥が生食用馬鈴薯品種「キタアカリ」の生育・収量・デンプン価に与える影響の解明	林怜史 栽培学研究室		【卒業論文】 発表題目：窒素・リン酸減肥が生食用馬鈴薯品種「キタアカリ」の生育・収量・デンプン価に与える影響の解明 発表者：高田翔
20	スイートコーン栽培におけるマルチの地温に対する効果の検証	林怜史 栽培学研究室		【卒業論文】 発表題目：スイートコーン栽培におけるマルチの地温に対する効果の検証 発表者：小林大洋
21	スイートコーン生育におけるマルチ効果：北海道石狩管内江別市における検証第2報（2023年と2024年の比較）	林怜史 栽培学研究室		【卒業論文】 発表題目：スイートコーン生育におけるマルチ効果：北海道石狩管内江別市における検証第2報（2023年と2024年の比較） 発表者：川口果歩
22	家畜堆肥等が飼料用水稲品種「きたげんき」の生育・収量に与える影響の解明	林怜史 栽培学研究室		【卒業論文】 発表題目：家畜堆肥等が飼料用水稲品種「きたげんき」の生育・収量に与える影響の解明 発表者：橋本悠世

### III. ステーション別運営概況



### III-1 酪農生産ステーション

#### 1. 基本方針

酪農学園の建学の精神「健土健民」と教育理念に立脚し実践的な酪農生産の教育・研究を推進しその成果の質保証と社会還元を図る。2000年11月竣工の既存牛舎群は四半世紀にわたり教育・研究を支えてきたが、本年度は将来の先進的乳牛飼養体系を見据え、施設再構築を本格化した。具体的には、育成舎ならびに自動搾乳システム牛舎を解体（2025年8月19日着工）し、跡地に自動搾乳ロボット、ミルククリーニングシステム、給餌ロボット、除糞ロボット等を備えたロボット牛舎の新設に着手、2026年5月の完成を目指す。AI・ICTの活用により省力化・効率化とデータ駆動型管理を実現しつつ、国際的潮流に即したアニマルウェルフェア、労働安全、環境配慮（省エネ・資源循環）、バイオセキュリティを中心据える。完成後は自動哺乳機（カーフフィーダー）を備えた哺育舎整備を進め、学生が未来型酪農を実践的に学ぶ教育環境を一層強化する。飼養頭数は、自給粗飼料生産圃場面積を考慮しつつも、健土健民入門実習を中心とする基盤教育や高校の牛舎実習が効果的に実施できる規模を最低限維持する。さらに酪農生産にかかる専門教育を円滑に、また複数の専門研究と同時並行で実施可能な飼養規模であることを必須条件とする。草地生態系における「土-草-牛」の物質循環を重視した酪農生産を実践するため、堆肥の有効利用を図るとともに、バイオガスプラント消化液は粗飼料生産圃場に還元し化学肥料の削減を図る。

上記の観点から、これまで肉畜生産ステーション肉牛農場との共同で行ってきた粗飼料の収穫・調製作業について、2022年4月に新たに設置した圃場機械部門が統括し、酪農・肉畜・作物生産の各ステーションの協力による取り進めを開始した。これら3ステーションの一体化を推進し、全ての粗飼料を自給することを目指す。

また、FEDREC全体の圃場の土地改良および草地更新等は、土壤分析結果および粗飼料栄養価分析値等、科学的根拠に基づき、長期的視点で計画立案し実施する。

#### 2. 概要

##### (1) 乳牛飼養状況（表1・2）

フリーストールの飼養頭数は、4月は経産牛64頭、未経産牛21頭、若牛12頭、子牛29頭の合計126頭であり、年度末では経産牛70頭、未経産20頭、若牛10頭、子牛27頭の合計127頭であった。繫ぎ飼い牛舎の飼養頭数は、4月は経産牛18頭、未経産牛4頭、若牛5頭、子牛6頭の合計33頭であり、年度末では経産牛18頭、未経産牛4頭、若牛1頭、子牛14頭の合計36頭であった。

##### (2) 繁殖（表3）

フリーストールの分娩頭数は68頭（うち3頭死産）であった。その内訳は、ホルスタイン♂7頭、♀31頭（うち2頭死産）、♀♂1頭、交雑種♂11頭（うち1頭死産）、交雑種♀12頭、ホルスタイン×モンベリアード♀1頭、黒毛和種♂（ET産子）4頭であった。平均産次数は1.9産、妊娠期間は280日、空胎日数は129日であった。繁殖成績は、交配頭数が90頭であり、受胎率は53.9%、受胎に要した交配回数は165回であった。また、受精卵移植は、ET実施頭数3頭に対し受胎頭数は2頭であった。OPU-IVFの実施はなかった。繫ぎ飼い牛舎の分娩頭数は17頭（うち1頭死産）であった。その内訳は、ホルスタイン♂6頭（うち1頭死産）、♀11頭であった。平均産次数は2.1産、妊娠期間は281日、空胎日数は161日であった。繁殖成績は、交配頭数が28頭であり、受胎率は50.0%、受胎に要した交配回数は27回であった。また、受精卵移植は、ET実施頭数2頭に対し受胎頭数は2頭であった。OPU-IVFの実施はなかった。

##### (3) 乳牛処分（表4・5）

フリーストールの乳牛処分頭数は62頭であり、廃用売却が43頭、除却が19頭であった。繫ぎ飼い牛舎の乳牛処分頭数は12頭であり廃用売却が10頭、除却が2頭であった。

##### (4) 生産乳量（表6・7）

フリーストール牛舎、および繫ぎ飼い牛舎の生乳総生産量は863,796kg、経産牛1頭当たりの乳量は9,706kgであった。乳成分の2牛舎平均は、乳脂肪率4.30%、乳蛋白率3.49%、無脂固形分率8.96%であった。

##### (5) 圃場部門（表8～13）

飼料作物の作付面積は、採草地53.6ha（文京台地区36.3ha、元野幌地区17.3ha）、デントコーン17.3haであり、総作付面積は70.9haであった。収穫量は、ロールベールサイレージ707個、グラスサイレージ520.2t、デントコーンサイレージ764.7tであった。

### 3. 施設・圃場図

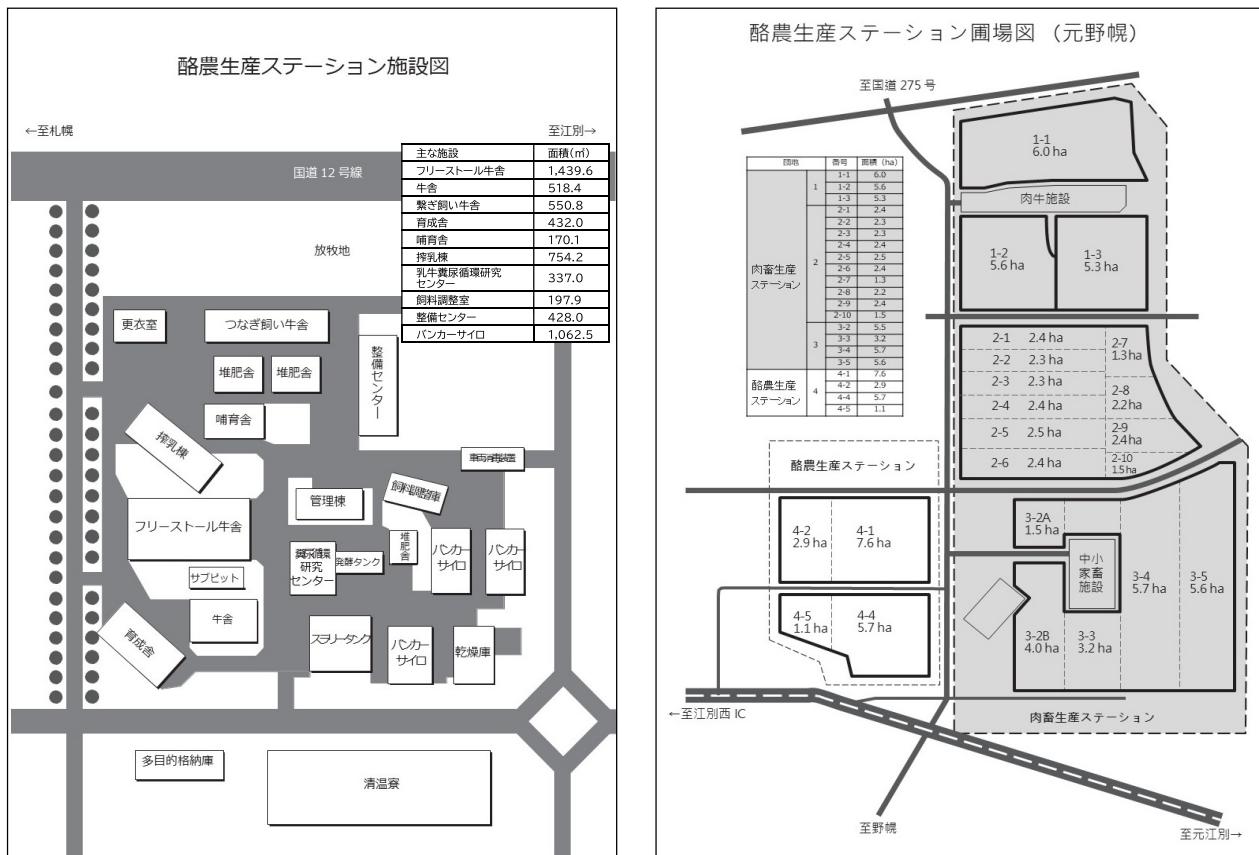


表1 乳牛飼養頭数（フリーストール牛舎）（2024年度）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
経産牛	64	65	67	69	70	68	68	67	68	73	71	70	68
未経産牛	21	23	24	23	17	15	15	15	16	12	12	20	18
若牛	12	9	10	10	11	19	18	22	21	19	17	10	15
子牛	29	29	26	28	28	22	22	21	21	25	28	27	26
合計	126	126	127	130	126	124	123	125	126	129	128	127	126

※4月は月初、5月～3月は月末頭数

表2 乳牛飼養頭数（繋ぎ飼い牛舎）（2024年度）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
経産牛	19	18	18	19	20	16	17	19	19	20	19	19	18.6
未経産牛	7	7	9	8	7	7	6	5	5	4	4	4	6.1
若牛	2	3	2	3	3	3	3	4	4	4	4	4	3.3
子牛	5	8	5	5	4	4	4	3	3	3	3	3	4.2
合計	33	36	34	35	34	30	30	31	31	31	30	30	32.1

※4月は月初、5月～3月は月末頭数

表3 繁殖状況（2024年度）

項目		フリーストール牛舎	繋ぎ飼い牛舎
分娩頭數		68(3)頭	18(1)頭
内訳（）は死産	ホルスタイン♂	7頭	8(0)頭
	ホルスタイン♀	29頭	6(0)頭
	ホルスタイン♀♀	頭	0頭
	ホルスタイン♀D	2頭	0頭
	ホルスタイン♂D	頭	0頭
	ホルスタイン♂♀	1頭	0頭
	ホルスタイン♀D♀D	1頭	0頭
	交雑種♂	10頭	2(0)頭
	交雑種♀	12頭	0頭
	交雑種♂D	1頭	0頭
	交雑種♀D♀D	頭	0頭
	ホルスタイン×モンベリ アード♀	1頭	0頭
	ジャージー♀♂D	頭	1(1)頭
	ジャージー♀	頭	1頭
黒毛和種		4頭	0頭
平均産次数		1.9産	2.6産
妊娠期間		280日	278日
空胎日数		129日	114日
交配頭数		90頭	16頭
受胎率		53.9%	53%
受胎に要した交配回数（1頭当たり）		1.7回	2.1回
その他	E T 実施頭数	3頭	4頭
	E T 受胎頭数	2頭	1頭
	O P U 実施頭数	0頭	0頭

表4 乳牛処分状況（フリーストール牛舎）(2024年度)

番号	処分日	検定番号	名 号	生年月日	区分	処分理由	区分
1	24/04/16	1860	No.1712 の仔	24/04/16	牝犢	F1 牝犢	売却
2	24/06/13	1816	No.1680 の仔	23/07/16	牝犢	黒毛和牛牝犢	売却
3	24/06/17	1616	ドルビツク チエルシー キングドッグ ラン	20/08/10	経産	サルモネラ症	除却
4	24/07/03	1741	ブレグリーンヒーリスク ルーナ	22/06/10	経産	サルモネラ陽性	除却
5	24/07/08	1540	ブレグリーン ピーピコンクロエ	19/07/06	経産	サルモネラ陽性	除却
6	24/07/08	1613	RGU ビジヨンジエン キングドッグ ミラ	20/07/22	経産	サルモネラ陽性	除却
7	24/07/08	1698	RGU HM クロス イル	21/09/16	経産	サルモネラ陽性	除却
8	24/07/15	1867	No.1448 の仔	24/06/17	未経産	臍帯炎	除却
9	24/07/16	1866	No.1613 の仔	24/06/15	牡犢	F1 牝犢	売却
10	24/07/16	1868	No.1694 の仔	24/06/25	牝犢	F1 牝犢	売却
11	24/07/16	1871	No.1318 の仔	24/06/30	牝犢	F1 牝犢	売却
12	24/07/23	1862	No.1728 の仔	24/06/09	牡犢	F1 牝犢	売却
13	24/07/23	1864	No.1725 の仔	24/06/11	牡犢	F1 牝犢	売却
14	24/07/23	1872	No.1655 の仔	24/07/04	牡犢	F1 牝犢	売却
15	24/07/23	1873	No.1614 の仔	24/07/04	牡犢	F1 牝犢	売却
16	24/07/23	1402	RGU ビジヨンジエン SS チメタン フタコ	17/07/09	経産	繁殖障害	売却
17	24/07/23	1511	RGU ミックス MS ハ	18/12/18	経産	繁殖障害	売却
18	24/07/27	1738	RGU アキスター サイト キック カリー	22/05/30	未経産	心不全	除却
19	24/08/02	1874	No.1747 の仔	24/07/09	牡犢	サルモネラ陽性	除却
20	24/08/06	1423	RGU アキスター モーグル エトワール	17/09/19	経産	繁殖障害	売却
21	24/08/06	1454	キノーレザービーム モカシ	18/03/20	経産	繁殖障害	売却
22	24/08/06	1477	ジエットケイセン ジャコビー ホームボム	18/08/03	経産	繁殖障害	売却
23	24/08/06	1875	No.1509 の仔	24/07/11	牡犢		売却
24	24/08/06	1876	No.1726 の仔	24/07/12	牡犢	F1 牝犢	売却
25	24/08/06	1880	No.1686 の仔	24/07/19	牡犢		売却
26	24/08/08	1619	ジエットケイセン コマンダー ヘンス	20/08/15	経産	サルモネラ陽性	除却
27	24/08/13	1881	No.511 の仔	24/07/22	牡犢	F1 牝犢	売却
28	24/08/13	1884	No.1764 の仔	24/07/30	牡犢		売却
29	24/09/03	1885	No.1758 の仔	24/08/09	牡犢	F1 牝犢	売却
30	24/09/03	1886	No.1465 の仔	24/08/14	牝犢	F1 牝犢	売却
31	24/09/06	1747	ドルビツク チエルシー アボ ラン	22/06/04	経産	サルモネラ陽性	除却
32	24/09/27	1694	RGU ミッドランド リアン ET	21/08/22	経産	事故死	除却
33	24/10/01	1890	No.1733 の仔	24/09/14	牡犢		除却
34	24/10/01	1350	キノーデザイン イエロー メイ	16/09/01	経産	腹膜炎	除却
35	24/10/08	1891	No.1775 の仔	24/09/18	牡犢	F1 牝犢	売却
36	24/11/05	1291	トワモリ ダンケーマーカス エリン	15/11/27	経産	繁殖障害	売却
37	24/11/09	1697	RGU バローズ ハニ	21/09/14	経産	肢蹄障害	除却
38	24/11/13	1846	No.1678 の仔	24/10/26	牝犢	黒毛和牛牝犢	売却
39	24/11/21	1894	No.1699 の仔	24/10/27	牡犢		売却
40	24/11/26	1892	No.1610 の仔	24/10/04	牡犢	F1 牝犢	売却
41	24/11/28	1905	No.1701 の仔	24/11/27	未経産	誤嚥性肺炎	除却
42	24/12/03	1642	バーグ フェムコ オリオン アイリーン	20/11/05	経産	乳器障害	売却
43	24/12/03	1897	No.1678 の仔	24/11/13	牡犢	F1 牝犢	売却
44	24/12/03	1898	No.1530 の仔	24/11/15	牡犢	F1 牝犢	売却
45	24/12/05	1902	No.503 の仔	24/11/22	牡犢		売却
46	24/12/10	1900	No.1768 の仔	24/11/19	牝犢	F1 牝犢	売却
47	24/12/19	1906	No.1708 の仔	24/11/28	牝犢	アーマーチン	除却
48	25/01/07	508	ジエットケイセン デンバー アルバ	18/11/24	経産	肢蹄障害	売却
49	25/01/07	1614	ジエットケイセン キングドッグ ポム	20/08/01	経産	肢蹄障害	売却
50	25/01/07	1680	ドルビツク カニバル リティ ア	21/06/29	経産	乳器障害	売却
51	25/01/07	1911	No.1243 の仔	24/12/21	牝犢	F1 牝犢	売却
52	25/01/07	1912	No.1644 の仔	24/12/23	牡犢	F1 牝犢	売却
53	25/01/09	1913	No.1774 の仔	24/12/24	牡犢		売却
54	25/01/14	1441	RD マツカス モーグルエミリー	17/12/14	経産	繁殖障害	売却
55	25/01/14	1577	ジエットケイセン ベル マーサ	19/12/30	経産	繁殖障害	売却
56	25/01/16	1907	No.1708 の仔	24/11/28	牡犢		除却
57	25/02/04	1915	No.1687 の仔	24/12/29	牡犢	F1 牝犢	売却
58	25/02/04	1916	No.1693 の仔	25/01/03	牡犢	F1 牝犢	売却
59	25/02/04	1918	No.1508 の仔	25/01/06	牝犢	F1 牝犢	売却
60	25/02/10	1919	RGU アキスター ヒューゴ キャリー	25/01/17	未経産	臍帯炎	除却
61	25/02/11	1713	キノーカイトラムダ メイシー	21/11/21	経産	心内膜炎	除却
62	25/03/18	1922	No.1623 の仔	25/02/16	牡犢	F1 牝犢	売却

表5 乳牛処分状況（繋ぎ飼い牛舎）(2024年度)

番号	処分日	検定番号	名 号	生年月日	区分	処分理由	区分
1	24/04/09	2053	トワノモリ JF アット ウッド エレン	16/10/19	経産		売却
2	24/07/23	2197	No.2117 の仔	24/07/03	牡犢		売却
3	24/08/09	2170	トワノモリ JF フエストマン	22/11/10	未経産		売却
4	24/08/09	2182	トワノモリ JF チーフ パターン	23/07/25	未経産		売却
5	24/09/03	2086	トワノモリ JF ダイヤモンド フラーレン	18/09/08	経産		売却
6	24/09/03	2106	トワノモリ レインボースター サンベリー	19/08/02	経産		売却
7	24/09/03	2161	トワノモリ TMF サマーフェスト	22/05/20	経産		売却
8	24/09/10	2202	No.2159 の仔	24/09/03	牝犢	F1 牝犢	売却
9	24/09/19	710	フロンティア テド マダム フィーバー	12/04/19	経産		除却
10	24/10/01	2203	No.2123 の仔	24/09/19	牝犢	F1 牝犢	売却
11	24/11/15	2155	トワノモリ F テド マダム カイザー	21/12/22	経産		売却
12	25/02/28	2116	トワノモリ F テド マダム ハル	20/02/07	経産		除却

表6 月別産乳状況(2024年度)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
乳量(kg)	65,471	67,549	59,290	62,967	69,989	63,729	62,019	59,414	68,725	71,417	64,215	73,814	788,599	65,717
乳脂率(%)	4.51	4.49	4.56	4.37	4.32	4.39	4.49	4.53	4.57	4.42	4.39	4.32	-	4.41
乳蛋白質率(%)	3.52	3.46	3.46	3.37	3.35	3.48	3.57	3.62	3.59	3.51	3.51	3.52	-	3.49
無脂固体分率(%)	9.02	8.96	8.99	8.83	8.83	8.93	9.04	9.08	9.08	9.01	9.05	9.08	-	8.99
平均搾乳牛頭数(頭)	74	74	70	71	76	74	71	71	75	75	74	75	-	73.3
搾乳牛平均乳量(Kg/日)	60	59.7	59	57	59.8	56.4	55.3	55.1	58.6	58.6	59.8	61.4	-	58.4
平均経産牛頭数(頭)	84	81	79	80	84	82	83	82	86	85	85	85	-	83.0
経産牛平均乳量(Kg/日)	22.7	52.6	52.1	51.7	55	53.1	49.5	48.9	52.4	51.9	51	53.4	-	49.5

表6-1 フリーストール牛舎(2024年度)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
乳量(kg)	52,539	53,417	44,874	48,788	53,135	48,927	47,389	45,246	53,636	58,052	51,933	59,492	617,429	51,452
乳脂率(%)	4.51	4.50	4.54	4.30	4.27	4.39	4.54	4.54	4.63	4.47	4.38	4.29	-	4.4
乳蛋白質率(%)	3.47	3.40	3.45	3.37	3.33	3.46	3.57	3.58	3.50	3.37	3.36	3.38	-	3.4
無脂固体分率(%)	8.96	8.90	8.98	8.83	8.80	8.92	9.04	9.01	8.98	8.87	8.89	8.91	-	8.9
平均搾乳牛頭数(頭)	60	59	54	55	58	56	53	54	58	59	59	59	-	56.9
搾乳牛平均乳量(Kg/日)	29.2	29.3	27.9	28.4	29.6	29.0	29.1	27.3	30.0	31.7	31.6	32.5	-	29.6
平均経産牛頭数(頭)	65	63	61	62	64	64	64	63	67	66	66	66	-	64.3
経産牛平均乳量(Kg/日)		27.3	24.5	26.3	27.8	25.7	24.7	24	26.8	29.2	27.9	29.1	-	26.6

表6-2 繋ぎ飼い牛舎(2024年度)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
乳量(kg)	12,932	14,132	14,416	14,179	16,854	14,802	14,630	14,168	15,089	13,365	12,282	14,322	171,171	14,264
乳脂率(%)	4.51	4.47	4.58	4.43	4.36	4.38	4.43	4.52	4.51	4.37	4.39	4.34	-	4.42
乳蛋白質率(%)	3.56	3.51	3.46	3.36	3.37	3.49	3.57	3.65	3.68	3.65	3.65	3.66	-	3.58
無脂固体分率(%)	9.08	9.02	8.99	8.83	8.86	8.94	9.03	9.15	9.18	9.15	9.20	9.24	-	9.08
平均搾乳牛頭数(頭)	14.0	15.0	16.0	16.0	18.0	18.0	18.0	17.0	17.0	16.0	15.0	16.0	-	16.3
搾乳牛平均乳量(Kg/日)	30.8	30.4	31.1	28.6	30.2	27.4	26.2	27.8	28.6	26.9	28.2	28.9	-	28.8
平均経産牛頭数(頭)	19.0	18.0	18.0	18.0	20.0	18.0	19.0	19.0	19.0	19.0	19.0	19.0	-	18.8
経産牛平均乳量(Kg/日)	22.7	25.3	27.6	25.4	27.2	27.4	24.8	24.9	25.6	22.7	23.1	24.3	-	25.1

表7 牛乳出荷状況(2024年度)

(単位kg)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
学外	フリーストール牛舎	51,971	53,132	36,446	40,942	51,490	49,090	43,832	41,600	52,744	55,093	49,445	58,570	584,355
	繋ぎ飼い牛舎	12,952	14,276	14,425	14,442	16,960	14,953	14,709	14,429	15,072	13,366	12,399	14,556	172,539
学内	牛舎計													
計(A)	64,923	67,408	50,871	55,384	68,450	64,043	58,541	56,029	67,816	68,459	61,844	73,126	756,894	
廃棄(フリーストール)B	150	33	6,764	7,197	1,323	755	419	1,054	1,652	2,218	852	1,202	23,619	
廃棄(繋ぎ飼い)C	0	133	0	248	115	168	68	230	0	0	107	183	1,252	
合計(A+B+C)	65,073	67,574	57,635	62,829	69,888	64,966	59,028	57,313	69,468	70,677	62,803	74,511	781,765	

表8 作付面積（2024年度）

【文京台地区】

圃場番号	面積(ha)	主な種類	播種年度
3	1.2	チモシー	2019
5	1.0	チモシー	2019
10	1.6	チモシー	2017
11	2.0	チモシー	2017
12	1.7	チモシー	2017
13	1.6	チモシー	2012
14	1.8	チモシー	2012
15	1.4	チモシー	2018
16	0.8	チモシー	2018
17	1.1	チモシー	2024
18	2.0	チモシー	2024
19	2.0	チモシー	2024
20	2.2	チモシー	2019
28	1.9	チモシー	2018
33	0.4	チモシー	1993
38	0.7	チモシー	2006
39	0.7	チモシー	2019
40	1.8	チモシー	2021
計	25.9		
6	2.4	オーチャードグラス	2023
7	1.9	オーチャードグラス	2023
8	1.4	オーチャードグラス	2016
9	2.0	オーチャードグラス	2016
24	0.9	オーチャードグラス	2015
34	1.8	オーチャードグラス	2015
35	1.4	オーチャードグラス	2015
計	11.8		
25	2.0	トウモロコシ	2024
26	1.9	トウモロコシ	2024
27	1.2	トウモロコシ	2024
29	1.4	トウモロコシ	2024
31	1.6	トウモロコシ	2024
32	2.2	トウモロコシ(早生品種)	2024
34	1.8	トウモロコシ(早生品種)	2024
35	1.4	トウモロコシ(早生品種)	2024
36	1.8	トウモロコシ	2024
37	1.5	トウモロコシ	2024
計	16.8		
22	1.4	放牧地	2002
23	0.9	試験圃(トウモロコシ)	2024
合計	56.8		

播種実績（牧草）（2024年度）

【文京台地区】

圃場番号	面積(ha)	作物	品種	播種日	播種数(キロ/10a)	総量(キロ)	備考
17	1.1	チモシー	ヘリオス	8/10,11	2.0	22.0	グラスシーダー
		シロクローバ	アババール	8/10,11	0.5	5.5	グラスシーダー
18	2.0	チモシー	ヘリオス	8/10,11	2.0	40.0	グラスシーダー
		シロクローバ	アババール	8/10,11	0.5	10.0	グラスシーダー
19	2.0	チモシー	ヘリオス	8/10,11	2.0	40.0	グラスシーダー
		シロクローバ	アババール	8/10,11	0.5	10.0	グラスシーダー
合計	5.1					127.5	

表10 播種実績（飼料用トウモロコシ）（2024年度）

【文京台地区】

圃場番号	面積(ha)	作物	品種	播種日	播種数(/10a)	総量(粒)	備考
23	0.9	試験圃(トウモロコシ)	バイオニア他	5/2,10	8,000	72,000	エアーシーダー
25	2.0	トウモロコシ	スノーデント110	5/4	7,000	140,000	エアーシーダー
26	1.9	トウモロコシ	スノーデント110	5/5	7,000	133,000	エアーシーダー
27	1.2	トウモロコシ	スノーデント110	5/5	7,000	84,000	エアーシーダー
29	1.4	トウモロコシ	ニューデント105	5/3	8,000	112,000	エアーシーダー
31	1.6	トウモロコシ	ニューデント105	5/10,11	8,000	128,000	エアーシーダー
32	2.2	トウモロコシ(早生品種)	ハヤミノルド	6/8,9	12,000	264,000	エアーシーダー
34	1.8	トウモロコシ(早生品種)	ハヤミノルド	6/8	12,000	216,000	エアーシーダー
35	1.4	トウモロコシ(早生品種)	ハヤミノルド	6/8	12,000	168,000	エアーシーダー
36	1.8	トウモロコシ	ニューデント105	5/3	8,000	144,000	エアーシーダー
37	1.5	トウモロコシ	ニューデント105	5/3	8,000	120,000	エアーシーダー
合計	17.7					933,000	

表11 グラスサイレージ生産量（2024年度）

【文京台地区】

圃場番号	面積(ha)	牧草種	播種年度	刈取日	収穫日	台数	サイロ	備考
3	1.2	TY/WC	2019					
5	1.0	TY/WC	2019	6/18	6/20	12	A	
10	1.6	TY	2017	6/27	6/28	11	C	
11	2.0	TY	2017	6/28	6/28	20	C	
12	1.7	TY	2017	6/26	6/27,28	12	C	
13	1.6	TY	2012	6/26	6/27	18	C	
14	1.8	TY	2012					
15	1.4	TY/WC	2019					
16	0.8	TY/WC	2019					
20	2.2	TY/WC	2019	6/20	6/21	5	A	
28	1.9	TY/WC	2018	6/18	6/20,21	19	A	
33	0.4	OG/KB/TY	1993	5/30	6/1	3	D	
38	0.7	TY	2006	5/29	5/31	5	D	
39	0.7	TY/WC	2019	6/17	6/19	6	A	
40	1.8	TY	2021	6/17	6/19	14	A	
計	20.8					125		
6	2.4	OG/ALF	2023	5/22	5/23	12	コンビラップ	
				7/16	7/16	13	コンビラップ	
				9/9	9/10	3	チュープサイロ	
7	1.9	OG/ALF	2023	5/22	5/23	11	コンビラップ	
				7/16	7/17	10	コンビラップ	
				9/9	9/10	3	チュープサイロ	
8	1.4	OG/ALF	2016	5/29	5/31,6/1	10	D	
				7/16	7/16	5	コンビラップ	
				9/9	9/10	6	チュープサイロ	
9	2.0	OG/ALF	2016	5/29	5/31,6/1	9	D	
				7/16	7/16	7	コンビラップ	
				9/9	9/10	8	チュープサイロ	
24	0.9	OG/PR	2015	5/30	6/1	6	D	
34	1.8	OG/PR	2015	5/30	6/1,2	11	D	
35	1.4	OG/PR	2015	5/30	6/1,2	13	D	
計	11.8					127		
22	1.4	放牧地	2002					
合計	34.0					252		

TY, チモシー; WC, シロクローバ; OG, オーチャードグラス; KB, ケンタッキーブルーグラス; ALF, アルファアルファ PR, ベニニアルライグラス 例) TY/WC・・・チモシーが最も多く、次にシロクローバが多い

表12 トウモロコシサイレージ生産量（2024年度）

【文京台地区】

圃場番号	面積(ha)	種類	収穫日	台数	サイロ	備考
23	0.9	試験圃（トウモロコシ）	9/28,29	14	K	
25	2.0	トウモロコシ	9/25,27,28	30	I・K	
26	1.9	トウモロコシ	9/25,26	34	I	
27	1.2	トウモロコシ	9/25,26	16	I	
29	1.4	トウモロコシ	9/23	22	J	
31	1.6	トウモロコシ	9/29	26	K	
32	2.2	トウモロコシ（早生品種）	9/18,19	20	B	
34	1.8	トウモロコシ（早生品種）	9/17,18	13	B	
35	1.4	トウモロコシ（早生品種）	9/17,18	10	B	
36	1.8	トウモロコシ	9/24	29	J	
37	1.5	トウモロコシ	9/24,25	20	J	
合計	17.7			234		

表13 ロールペールサイレージ生産量（2024年度）

【文京台地区】

圃場番号	面積(ha)	牧草種	播種年度	一番草			二番草			三番草			四番草			合計	
				刈取日	収穫日	個数	刈取日	収穫日	個数	刈取日	収穫日	個数	刈取日	収穫日	個数		
3	1.2	TY/WC	2019	6/26	6/29	26	9/3	9/4	4							30	
5	1.0	TY/WC	2019				9/3	9/4	3							3	
10	1.6	TY	2017	6/21	6/23	8	8/28	8/29	7							15	
11	2.0	TY	2017	6/21	6/23	10	8/28	8/29	9							19	
12	1.7	TY	2017	6/21	6/23	9	8/28	8/29	9							18	
13	1.6	TY	2012	6/21	6/23	8	8/28	8/29	9							17	
14	1.8	TY	2012	6/21	6/23	29	8/28	8/29	4							33	
15	1.4	TY/WC	2019	7/1	7/3	39	9/1	9/2	7							46	
16	0.8	TY/WC	2019	7/1	7/3	20	9/1	9/2	4							24	
20	2.2	TY/WC	2019	6/20	6/23	39	8/29	8/30	5							44	
28	1.9	TY/WC	2018				8/23	8/25	8							8	
33	0.4	OG/KB/TY	1993				7/17	7/18	2	9/3	9/4	1				3	
38	0.7	OG/TY	2006				7/17	7/18	5	9/3	9/4	3				8	
39	0.7	TY/WC	2019				8/23	8/25	3							3	
40	1.8	TY	2021				8/23	8/25	4							4	
小計	20.8					188			83			4				0	275
6	2.4	OG/ALF	2023							9/9	9/14	15	10/29	11/2	6	21	
7	1.9	OG/ALF	2023				7/16	7/18	2	9/9	9/14	11	10/29	11/2	6	19	
8	1.4	OG/ALF	2016													0	
9	2.0	OG/ALF	2016													0	
24	0.9	OG/PR	2015				7/17	7/18	6	9/12	9/14	4				10	
小計	8.6					0			8			30			12	38	
22	1.4	放牧地	2002													0	
計	30.8					188			91			34			12	313	

【元野幌地区】

圃場番号	面積(ha)	牧草種	播種年度	一番草			二番草			三番草			四番草			合計
				刈取日	収穫日	個数	刈取日	収穫日	個数	刈取日	収穫日	個数	刈取日	収穫日	個数	
41	7.6	RCG/OG/QG		6/11	6/14	83	8/5	8/10	16	10/5	10/10	22				121
42	2.9	RCG/OG/QG		6/11	6/13,14	31	8/5	8/10	6	10/5	10/10	8				45
44	5.7	RCG/OG/QG														0
45	1.1	RCG/OG/QG	2016	6/11	6/13	11	8/5	8/10	3	10/5	10/10	3				17
計	17.3					125			25			33				183

合計	48.1					313			116			67				496
----	------	--	--	--	--	-----	--	--	-----	--	--	----	--	--	--	-----

TY, チモシー；WC, シロクローバ；OG, オーチャードグラス；KB, ケンタッキーブルーブラス；ALF, アルファルファ；PR, ペレニアルライグラス RCG, リードカナリーグラス；QG, シバムギ 例) TY/WC・・・チモシーが最も多く、次にシロクローバが多い

### III-2 肉畜生産ステーション

#### 1. 基本方針

本ステーションは、酪農学園の建学の精神と教育理念に基づき肉牛、豚、めん羊、鶏等、本学における肉畜生産の実践的な教育・研究の場を提供するとともに、地域社会との連携により肉畜生産を通じた社会貢献の場を提供することを目指す。

本ステーションは、元野幌地区に整備された元野幌肉牛教育研究施設（肉牛舎）、元野幌中小家畜教育研究施設（豚舎、羊舎、鶏舎）および草地から構成される。

飼養頭数については、FEDREC全体の自給飼料生産圃場面積および圃場収量と施設の収容可能頭数を勘案すると同時に、健土健民入門実習を中心とする基盤教育やその後の専門基礎教育、専門教育、高校における実習を効果的に実施できる規模とする。

本ステーションでは本学創立の基本精神である「三愛精神に基づく健土健民」に基づき「循環農法」の実現を目指す。具体的には発生する堆肥や処理汚水を活用して粗飼料を生産し、自給飼料として利用するほか、食品製造残さ等を利用したエコフィードや作物生産ステーションの圃場残さ等の活用も推進する。自給粗飼料の収穫調整作業にあたっては他のステーションと連携、協力し、良質の粗飼料および敷料確保に努め、隨時土地改良や草地更新も検討する。

本ステーションの教育効果のさらなる向上を目指し、今後は文京台キャンパスから本ステーションの施設（元野幌地区）への学生の移動手段の拡充や、本学の教育改革の方針を踏まえ、学生向けの畜舎利用案内の設置や防疫の強化などを検討する。

#### 2. 概要

##### (1) 肉牛教育研究施設

###### 1) 繁養牛頭数（表1）

2024年度末繫養牛頭数は、黒毛和種74頭（繁殖牛41頭、肥育牛1頭、子牛・育成32頭）、日本短角種18頭（繁殖牛5頭、肥育牛4頭、子牛・育成牛9頭）の合計92頭である。

###### 2) 生産子牛頭数（表2および3）

黒毛和種は合計31頭（雄14頭、雌15頭）、日本短角種は合計4頭（雄2頭、雌2頭）を生産した。黒毛和種では人工授精により26頭、受精卵移植により5頭の子牛を生産した。また、日本短角種は人工授精により4頭を生産した。

###### 3) 基幹雌牛および育成牛（表4）

2024年度までの計画的な牛群整備により、黒毛和種の基幹雌牛39頭および基幹雌牛候補としての育成牛4頭、日本短角種の基幹雌牛は4頭および基幹雌牛候補としての育成牛1頭であり、基幹雌牛は黒毛和種では昨年度より3頭増、日本短角種では1頭減となった。

###### 4) 登録審査

2024年度は黒毛和種の高等登録と未経産牛3頭、日本短角種未経産牛2頭の基本登録審査を受審した。体型得点は、基本登録の黒毛和種は82.7点、83.3点、83.0点、日本短角種は84.4点、81.7点と5頭が高得点を獲得した。現在繫養している黒毛和種の繁殖牛（39頭）の登録審査における平均得点は83.3点で、最低80.8点、最高85.6点である。また、審査得点の分布は、80点台1頭（2.6%）、81点台5頭（12.8%）、82点台10頭（25.6%）、83点台9頭（23.0%）、84点台9頭（23.0%）、85点台5頭（12.8%）である。82点以上30頭（81.0%）、83点以上20頭（54.0%）である。

###### 5) 黒毛和種および日本短角種の市場出荷（表5および8）

2024年度はホクレン南北海道市場に黒毛和種31頭（去勢18頭、雌13頭）および日本短角種1頭（表8の経産肥育牛1頭）を出荷した。

黒毛和種は子牛の平均出荷日齢は去勢284日齢、雌301日齢であった。出荷時の平均体重は去勢334kg、雌314kgで、平均DGは去勢1.18kgおよび雌1.04kgであった。平均価格（税込）は去勢607,848円、雌477,231円であった。市場平均価格よりも雄-12,225円、雌-18,090円低い価格で取引された。

日本短角種は経産肥育牛1頭を出荷し、価格（税込）は390,500円であった。

## 6) 肥育牛出荷（表6および7と8）

①2024年度は黒毛和種4（去勢2頭、雌2頭）の肥育牛を出荷した。格付等級A5が1頭、B4が2頭、B3が1頭であった。去勢牛の平均枝肉重量およびBMSは554kgおよび7.5であった。

日本短角種は去勢牛3頭（去勢1頭、雌2頭）（表7）を出荷した。格付等級はB2が1頭、A2が2頭であり、枝肉重量は雌444kg、雄428kg BMSは雄、雌ともに2.0であった。

なお、黒毛和種の肥育牛（表6の4頭と表7の3頭）は、緊急出荷（左前脚ナックルのため）はホクレンに1頭、イオン北海道株式会社に3頭販売した。また、日本短角種（表7）はイオン北海道株式会社に3頭販売した。

### ②その他の出荷牛（表8）

黒毛和種経産牛2頭、日本短角種経産牛1頭を廃用として販売した。

## 7) その他

### ①共進会関係

2024年度は令和6年度江別黒毛和種選抜会にて4部門に8頭出品し、1部門、3部門、5部門において首席を獲得するとともに、経産牛部門の最高位も獲得した。

令和6年度石狩管内肉用牛共進会は3部門に9頭出品し（重複を含む）、2部、4部、7部、において首席を獲得するとともに、未経産部門の最高位、経産牛部門の最高位も獲得した。

第33回北海道肉用牛共進会は4部門に5頭出品し（重複を含む）、2部門1等2席、3部門2等、4部門優等賞6席、7部門1等6席、獲得した。

### ②和牛種雄牛候補販売（表9）

当農場産出雄の黒毛和種を種雄牛候補として、ジェネティクス北海道に販売した。

## (2) 中小家畜教育研究施設

### 1) 豚舎（表11～13）

豚舎では、交雑種（LW）母豚とデュロック種雄豚を交配した、三元交配により子豚生産から肥育までの一貫生産を行う中で、実習・試験・研究に供しつつ豚肉生産を行っている。

飼養方法は、種雄豚は单房飼育し、母豚はストール房で飼育し、肢蹄を強化する為、積雪期以外は放牧を行った。離乳豚は、高床スノコ床群飼房で飼養し、肥育豚はコンクリート床群飼房またはバイオベット内で飼育した。交配は、種雄豚から採精した精液または人工授精所より供給される購入精液を用いた人工授精と自然交配により実施した。また母豚と産出した子豚に対し、各種ワクチン接種を行い、疾病予防に努め健康で良質な豚肉生産を目指した。

給与飼料は、発育段階に応じて、市販配合飼料を中心に給与し、周辺地域から排出される食品製造残さや作物生産ステーションで生産された圃場残さ等を最大限に活用し、飼料費低減と産肉性の向上に努めた。年度初め飼養頭数は、母豚はランドレース純粋種2頭、交雑種（LW）12頭の計14頭。種雄豚デュロック種2頭、肥育豚47頭、子豚38頭、人工乳期20頭、哺乳期0頭の121頭であった。

子豚生産では、のべ27頭の母豚が分娩し、総産子数は300頭、うち27頭が死産・白子・黒子で273頭を哺乳開始し、離乳頭数は238頭であった（育成率87.2%）。また、肥育豚228頭を出荷し、平均出荷体重114.4kg、平均枝肉重量75.4kg、平均枝肉歩留まり65.9%、平均背脂肪厚1.8cm、格付け上物率74.6%であった。

年度末の飼養頭数は、母豚10頭、種雄豚2頭、育成豚（L種）2頭、肥育豚46頭、子豚16頭、人工乳期37頭、哺乳豚16頭の合計129頭であった。

### 2) 鶏舎（表14および15）

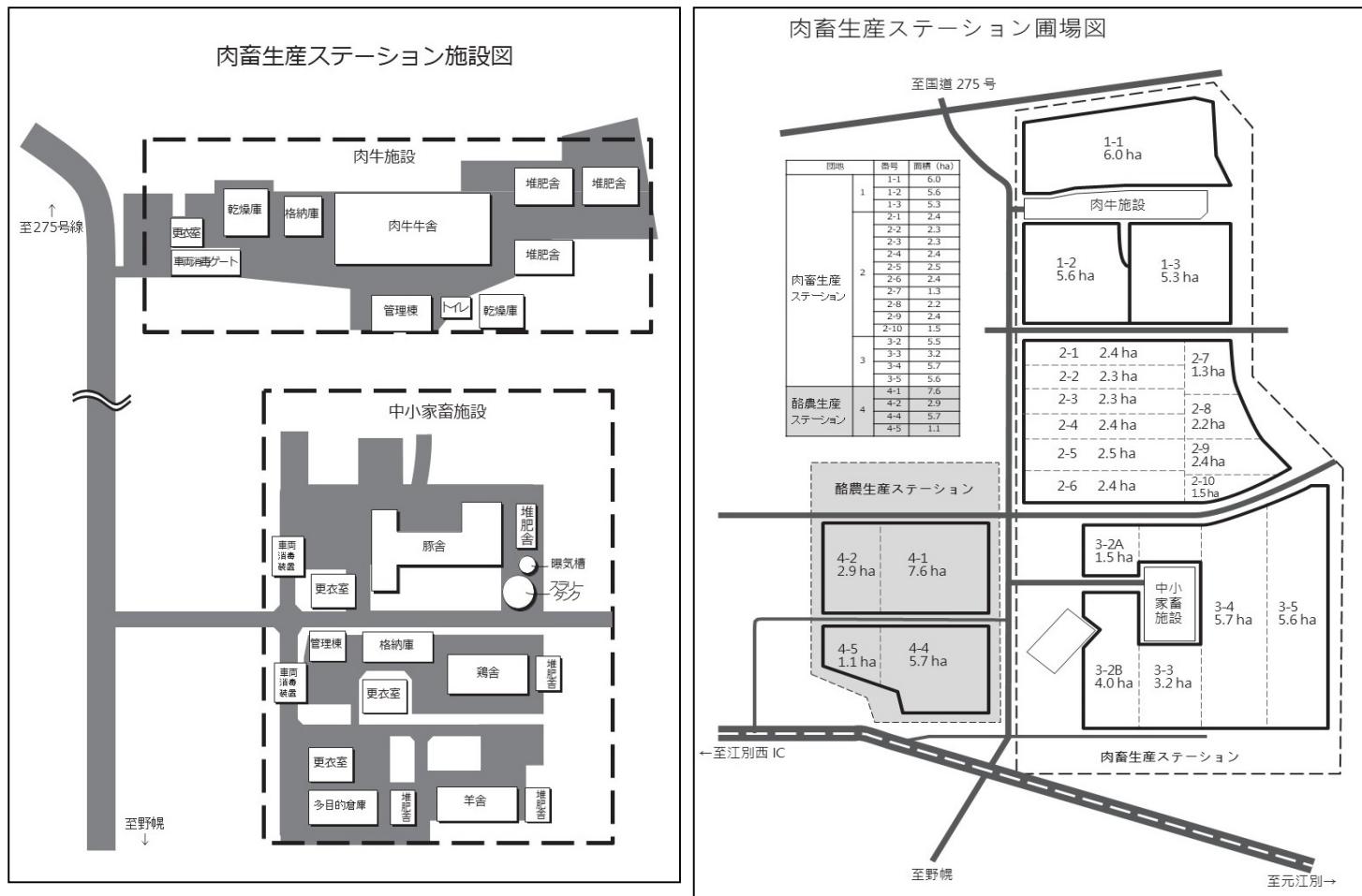
鶏舎では、採卵鶏および肉用鶏を飼養し、教育・研究に供するとともに生産された鶏卵は学生、教職員に販売して活用を図った。飼養方法は、採卵鶏については主にケージ飼育を行い給与飼料は、各段階に応じた市販配合飼料を給与した。またエコフィードの青米を給与した。更新のために導入した雛については、適宜ワクチン接種を行った。年度初めの飼養羽数は、370羽であった。その内訳は、さくら154羽、もみじ137羽、黄斑プリマスロック10羽、オーストラロープ6羽、烏骨鶏3羽、アローカナ3羽、チャボ4羽、地鶏54羽。採卵鶏の更新は、5月にさくら132羽、もみじ129羽を初生雛で導入し、育雛・育成を行い11月2日に採卵鶏ケージ室への移動を実施し、廃鶏は解剖・解体実習用に供した。産卵成績は、86,676個の鶏卵を生産し、その平均産卵率は80.5%であった。肉用鶏は、平飼い室で飼養試験を行い、その後、8月末までに解体処理し、各部位をサンプリングした。また、5月上旬に初生雛56羽を導入し、7月上旬には、ブロイラーの種卵を導入し孵化させ55羽を実験に供した。

### 3) 羊舎（表 16～19）

羊は教育・研究に供されると共に、交配して羊肉生産並びに更新用として育成を行う計画である。飼養方法は、冬季間以外羊舎隣接の放牧地において飼養し、冬期間は舎内で飼養した。放牧可能な期間は、放牧地における生草、冬季間は羊舎内において乾牧草を給与し、併せて各段階に応じた市販の配合飼料を給与した。年度初めの飼養頭数は、テクセル種の種雄羊 1 頭、繁殖雌羊 6 頭、育成雌羊 1 頭および子羊 6 頭とサフォーク種の種雄羊 1 頭、繁殖雌羊 8 頭、育成雌羊 1 頭および子羊 7 頭で合計 31 頭であった。生産された子羊の雄は去勢を行い、肥育し年度内に全頭を出荷した。

繁殖・分娩状況は、10月中旬より放牧地においてテクセル種種雄羊とサフォーク種雄羊により自然交配し 11 月上旬までにテクセル種 5 頭サフォーク種 5 頭が受胎し、3 月 2 日より分娩が開始され、テクセル種雌 5 頭、雄 3 頭、計 8 頭、サフォーク種雌 5 頭、雄 6 頭、計 11 頭の子羊が産出され、羊肉生産並びに更新用として育成を行う。今後、羊毛の活用を検討する。なお、この他にテクセル種雄 2 頭、サフォーク 1 頭が死産となった。

### 3. 施設・圃場図



主な施設	面 積	飼養可能頭数
肉牛牛舎	1672.0 m <sup>2</sup>	90頭
豚 舎	904.2 m <sup>2</sup>	170頭
鶏 舎	498.8 m <sup>2</sup>	850羽 (ケージ400羽) (平飼い450羽)
羊 舎	419.5 m <sup>2</sup>	20頭

表1 肉牛農場繁養牛頭数（2024年度 2025/3/31現在）(単位：頭)

区 分		黒毛和種		日本短角種		計
		♀	♂	♀	♂	
繁殖牛	経産牛	39		5		44
	未経産牛	2				2
	計	41		5		46
肥育	前期 (9-15か月)					
	中期 (16-24か月)	1		1		2
	後期 (25か月以降)			2		2
	計	1		3		4
子牛・育成	0-3か月	8	3	1		12
	4-10か月	8	9	2	2	21
	11-23か月	3	1	1	3	8
	計	19	13	4	5	41
合 計		61	13	12	5	91
		74		17		

表2 黒毛和種 生産子牛一覧表（2024年度）

番号	品種	名号	性別	生年月日	個体識別番号	交配区分	血統			
							父	母	母方父	母方祖父
1	黒毛和種	ひすい 6	♀	2024/3/14	16868-8829-6	AI	北美津久	あおい 1	若百合	安平幸
2	黒毛和種	夢襟貞 6	♂	2024/5/25	16868-8842-5	AI	英貞	えりこ 24	光平照	百合茂
3	黒毛和種	夢菊平 6	♂	2024/7/1	16868-8843-2	AI	拓忠平	たつひめ 4	英貞	勝平 1
4	黒毛和種	夢元百合 6	♂	2024/7/2	16868-8844-9	AI	若百合	ゆめもとみつ 26	隆之国	百合茂
5	黒毛和種	もえぎ 6	♀	2024/7/10	16868-8845-6	AI	博紅葉	もみじ 4	若百合	豊美菊
6	黒毛和種	にしこ 6	♀	2024/7/23	16868-8846-3	AI	博紅葉	くみこ 25	安平幸	勝忠平
7	黒毛和種	夢北晴 6	♂	2024/8/10	16836-8847-9	AI	北美津久	あちゃこ 23	梅栄福	勝平 1
8	黒毛和種	夢紅陽 6	♂	2024/8/12	16836-8848-6	AI	博紅葉	りな 30	勝平 1	勝早桜 5
9	黒毛和種	みちか 6	♀	2024/8/27	16836-8849-3	AI	勝俊桜	いちか 2	梅栄福	金忠平
10	黒毛和種	ののか 6	♀	2024/9/21	16836-8851-6	ET	北美津久	かすみ 3	美國桜	美津照重
11	黒毛和種	夢若澄 6	♂	2024/10/10	16836-8853-0	AI	若百合	かすみ 3	美國桜	美津照重
12	黒毛和種	夢光綺 6	♂	2024/10/17	16836-8854-7	AI	若百合	ひかる 3	秋忠平	安福久
13	黒毛和種	ゆうり 6	♀	2024/10/23	16836-8855-4	AI	拓忠平	みゆう 3	勝早桜 5	安福久
14	黒毛和種	ぶらむ 6	♀	2024/11/8	16868-8856-1	AI	百合美	らいむ 2	勝早桜 5	百合茂
15	黒毛和種	夢幸桜 6	♂	2024/11/16	16836-8858-5	AI	勝俊桜	ゆう 21	安福久	平茂勝
16	黒毛和種	まりん 6	♀	2024/11/18	16836-8859-2	ET	美津照重	かりん 28	勝早桜 5	百合茂
17	黒毛和種	夢珀麦 6	♂	2024/12/10	16836-8863-9	AI	珀百合	むぎ 4	秋忠平	茂百合
18	黒毛和種	さなえ 6	♀	2024/12/16	16836-8864-6	AI	梅栄福	ふみえ 5	秋忠平	勝忠平
19	黒毛和種	夢若幸 6	♂	2024/12/19	16836-8865-3	AI	鉄晴幸	わかば 28	勝早桜 5	安福久
20	黒毛和種	れい 7	♀	2025/1/6	16836-8866-0	AI	北美津久	あんず 29	安福久	安福 165 の 9
21	黒毛和種	まろん 7	♀	2025/1/11	16836-8867-7	ET	美津照重	かりん 28	勝早桜 5	百合茂
22	黒毛和種	りん 7	♀	2025/1/17	16836-8868-4	ET	美津照重	かりん 28	勝早桜 5	百合茂
23	黒毛和種	夢晴百合 7	♂	2025/1/29	16836-8869-1	AI	若百合	しおり 29	安福久	百合茂
24	黒毛和種	はんな 7	♀	2025/2/1	16836-8870-7	AI	博紅葉	あんな 28	百合勝安	芳之国
25	黒毛和種	夢春北 7	♂	2025/2/25	16836-8871-4	AI	北美津久	はるな 1	華春久	若百合
26	黒毛和種	しらゆきひめ 7	♀	2025/3/12	16836-8872-1	AI	花福姫	ゆきの 30	福乃百合	北平安
27	黒毛和種	夢鈴葉 7	♂	2025/3/20	16836-8873-8	AI	博紅葉	すず 30	百合茂	安福久
28	黒毛和種	夢小松 7	♀	2025/3/24	16734-8874-4	AI	鉄晴幸	こまち 28	勝早桜 5	安福久
29	黒毛和種	ころん 7	♀	2025/3/25	16734-8876-8	ET	美津照重	かりん 28	勝早桜 5	百合茂
30	黒毛和種	みんと 7	♀	2025/3/26	16734-8877-5	AI	英貞	じやすみん 27	北平安	安福久
31	黒毛和種	夢夏福 7	♂	2025/3/29	16734-8878-2	AI	花福姫	なつひめ 28	若百合	金忠平

表3 日本短角種 生産子牛一覧表（2024年度）

番号	品種	名号	性別	生年月日	個体識別番号	交配区分	血統			
							父	母	母方父	母方祖父
1	日本短角種	きょうこ 6	♀	2024/8/31	16836-8850-9	AI	帝門夢 26	とみな 4	満伯 2484	牧姫 54
2	日本短角種	いすも 6	♀	2024/9/28	16836-8852-3	AI	初男 28	にとり 2	帝門夢 26	満伯 2484
3	日本短角種	夢帆手咲来 6	♂	2024/11/25	16836-8860-8	AI	石深	さらだ 3	松秋	牧姫 54
4	日本短角種	夢雪秋 6	♂	2024/12/4	16836-8862-2	AI	松秋	ゆき 28	牧姫 54	辰錦
5	日本短角種	すみれ 6	♀	2025/3/24	16734-8875-1	AI	松秋	あすみ 3	辰藤	帝門夢 26

表4 肉牛基幹雌牛および育成牛名簿（2024年度）

番号	品種	品種番号	名号	生年月日	個体識別番号	登録番号	登録点数	交配区分	血統				産次
									父	母	母方父	母方祖父	
1	黒毛和種	黒 2	ゆう 21	2009/8/19	12562-8408-4	黒 2379005	81.1	ET	安福久	てる 195 の 1	平茂勝	金幸	12
2	黒毛和種	黒 3	のぶこ 21	2009/8/16	12562-8405-3	黒 2379006	81.6	ET	安福久	てる 195 の 1	平茂勝	金幸	10
3	黒毛和種	黒 44	えりこ 24	2012/1/23	13409-8450-0	黒 2431953	83.1	AI	光平照	しおり 21	百合茂	安平	10
4	黒毛和種	黒 59	とも 25	2013/1/31	13819-8469-9	黒 2450479	84.1	AI	北平安	こうめ 21	平茂晴	平茂勝	10
5	黒毛和種	黒 60	くみこ 25	2013/4/2	13819-8470-5	黒 2450480	82.5	ET	安平幸	はなひめ	勝忠平	第1花国	8
6	黒毛和種	黒 67	ひろみ 25	2013/10/27	13819-8480-4	黒 2468229	80.8	AI	北平安	のぶこ 21	安福久	平茂勝	9
7	黒毛和種	黒 69	いくこ 25	2013/11/13	13819-8482-8	黒 2468230	81.7	AI	美津照重	やえこ 21	平茂勝	北国 7 の 8	9
8	黒毛和種	黒 79	さきこ 26	2014/2/14	13596-8493-4	黒 2478099	81.7	ET	芳之国	ゆう 21	安福久	平茂勝	9
9	黒毛和種	黒 85	ゆめもとみつ 26	2014/11/6	13646-8502-5	黒 2493749	82.9	ET	隆之国	もとゆり 2	百合茂	美津福	9
10	黒毛和種	黒 89	もも 26	2014/12/18	13646-8506-3	黒 2493751	84.4	ET	百合茂	のぶこ 21	安福久	平茂勝	8
11	黒毛和種	黒 90	さんご 26	2014/12/29	13646-8507-0	黒 2493752	82.1	ET	安福久	いちご 21	平茂晴	平茂勝	8
12	黒毛和種	黒 94	じやすみん 27	2015/1/25	14776-8511-0	黒 2493755	82.7	AI	北平安	のぶこ 21	安福久	平茂勝	7
13	黒毛和種	黒 120	こまち 28	2016/4/23	14344-8547-0	黒 2565873	84.2	AI	勝早桜 5	のぶこ 21	安福久	平茂勝	7
14	黒毛和種	黒 121	わかば 28	2016/5/4	14344-8548-7	黒 2565875	83	AI	勝早桜 5	ゆう 21	安福久	平茂勝	6
15	黒毛和種	黒 122	ふうか 28	2016/6/16	14344-8549-4	黒 2565874	82.6	AI	花平安	くみこ 25	安平幸	勝忠平	7
16	黒毛和種	黒 123	なつひめ 28	2016/8/16	14344-8551-7	黒 2576412	82.8	AI	若百合	いちご 23	金忠平	平茂晴	7
17	黒毛和種	黒 128	あんな 28	2016/10/31	14973-8558-8	黒 2576413	83.2	AI	百合勝安	まさこ 24	芳之国	安福久	7
18	黒毛和種	黒 130	かりん 28	2016/11/7	14973-8560-1	黒 2583067	84.5	AI	勝早桜 5	もも 26	百合茂	安福久	7
19	黒毛和種	黒 145	あんず 29	2017/6/22	15012-8577-4	黒 2607372	81.8	ET	安福久	しおり 21	百合茂	安平	7
20	黒毛和種	黒 151	しおり 29	2017/10/19	15012-8587-3	黒 2615431	82.8	ET	安福久	しおり 21	百合茂	安平	7
21	黒毛和種	黒 152	よしの 29	2017/10/21	15012-8588-0	黒 2615432	84	ET	安福久	いちこ 21	平茂晴	平茂勝	4
22	黒毛和種	黒 168	すず 30	2018/5/3	14348-8608-6	黒 2647002	83.7	ET	百合茂	ゆう 21	安福久	平茂勝	5
23	黒毛和種	黒 176	りな 30	2018/9/30	15634-8620-1	黒 2663020	85	AI	勝平 1	かりん 28	勝早桜 5	百合茂	5
24	黒毛和種	黒 180	かえで 30	2018/10/21	15634-8624-9	黒 2663021	83.7	AI	豊美菊	まさこ 24	芳之国	安福久	5
25	黒毛和種	黒 183	ゆきの 30	2018/11/20	15634-8630-0	黒 2663022	84.7	AI	福乃百合	とも 25	北平安	平茂晴	4
26	黒毛和種	黒 201	あおい 1	2019/6/17	13828-8649-7	2019 子北黒 1382886497	85.1	AI	若百合	くみこ 25	安平幸	勝忠平	4
27	黒毛和種	黒 205	はるな 1	2019/7/29	13828-8654-1	2019 子北黒 1382886541	85.1	AI	華春久	なつひめ 28	若百合	金忠平	4
28	黒毛和種	黒 220	らいむ 2	2020/2/27	16018-8672-7	2020 子北黒 1601886727	84	AI	勝早桜 5	もも 26	百合茂	安福久	4
29	黒毛和種	黒 247	いちか 2	2020/11/22	16262-8703-5	2020 子北黒 1626287035	84.4	AI	梅栄福	いちご 23	金忠平	平茂晴	3
30	黒毛和種	黒 255	ひかる 3	2021/3/20	16262-8713-4	2021 子北黒 1626287134	84.4	AI	秋忠平	あんず 29	安福久	百合茂	3
31	黒毛和種	黒 269	ななせ 3	2021/7/11	16349-8728-6	2021 子北黒 1634987286	83.8	ET	勝早桜 5	みゆう 29	0	0	2
32	黒毛和種	黒 271	あちゃこ 3	2021/8/14	16349-8730-9	2021 子北黒 1634987309	82.8	AI	梅栄福	りな 30	勝平 1	勝早桜 5	2
33	黒毛和種	黒 273	かすみ 3	2021/9/3	16349-8732-3	2021 子北黒 1634987323	82.5	ET	美國桜	りゅう 23	美津照重	安福久	2
34	黒毛和種	黒 279	みゆう 3	2021/11/6	15732-8739-3	2021 子北黒 1573287393	85.6	AI	勝早桜 5	ゆう 21	安福久	平茂勝	2
35	黒毛和種	黒 285	むぎ 4	2022/2/10	15732-8747-8	-	-	AI	秋忠平	すず 30	百合茂	安福久	2
36	黒毛和種	黒 301	もみじ 4	2022/7/12	13857-8765-4	2022 子北黒 1385787654	83	AI	若百合	かえで 30	豊美菊	芳之国	1
37	黒毛和種	黒 303	たつひめ 4	2022/7/30	13857-8767-8	2022 子北黒 1385787678	85.1	AI	英貞	りな 30	勝平 1	勝早桜 5	1
38	黒毛和種	黒 317	いち 5	2023/2/5	13857-8783-8	2023 子北黒 1385787838	82.6	AI	勝早桜 5	いちご 23	金忠平	平茂晴	1
39	黒毛和種	黒 325	ふみえ 5	2023/3/23	14553-8789-0	2023 子北黒 1455387890	83.3	AI	秋忠平	しおり 21	安福久	百合茂	1
40	黒毛和種	黒 326	はるの 5	2023/3/28	14553-8790-6	2023 子北黒 1455387906	83.0	AI	安亀忠	はるな 1	華春久	若百合	0
41	黒毛和種	黒 346	ゆうひ 5	2023/11/21	16868-8816-6	2023 子北黒 168688166	-	AI	北美津久	ゆう 21	安福久	平茂勝	0
42	日本短角種	短角 66	にとり 2	2020/9/18	16122-8696-7	2020 子北 1612286967	-	AI	帝門夢	あとり 30	満伯 2484	牧姫 54	2
43	日本短角種	短角 69	あすみ 3	2021/3/23	16262-8714-1	2021 子北 1626287141	-	AI	辰藤	あすな 31	帝門夢 26	桜頬 5	2
44	日本短角種	短角 70	さらだ 3	2021/10/16	15732-8736-2	2021 子北 1626287141	-	AI	松秋	さら 27	牧姫 54	辰郎	1
45	日本短角種	短角 75	まるお 4	2022/9/14	15732-8754-7	2022 子受卵北 1385787708	84.4	ET	民姫	まりな	辰錦	福撫 1007	1
46	日本短角種	短角 76	とみな 4	2022/12/4	15732-8775-3	-	81.7	AI	満伯 2484	ゆき 28	牧姫 54	辰錦	1

表5 黒毛和種子牛・成牛市場出荷牛一覧（2024年度）

No.	名号	生年月日	血統				出荷日	日齢 (日)	体重(kg)	DG (日)	販売価格 (税込)(円)
			父	母	母方父	母方祖父					
1	夢美津栄5	2023/8/2	美津利奈	梅栄福	勝平1	あちやこ3	2024/5/15	287	336	1.17	580,800
2	ふう5	2023/7/17	夏百合	豊姫菊	芳之国	かえで30	2024/5/15	303	309	1.02	556,600
3	夢福茂5	2023/9/2	安福久	安福165の9	安福(岐阜)	しげふく1	2024/6/13	285	292	1.02	367,400
4	夢美津桜5	2023/9/17	美津利奈	勝早桜5	百合茂	かりん28	2024/6/13	270	308	1.14	504,900
5	ゆりもとみつ5	2023/8/22	福之百合	隆之国	百合茂	ゆめもとみつ26	2024/6/13	296	285	0.96	390,500
6	夢久姫5	2023/10/8	福之姫	安福久	平茂晴	さんご26	2024/7/10	276	318	1.15	687,500
7	まつり5	2023/9/4	福之姫	若百合	安平幸	あおい1	2024/7/10	310	344	1.11	511,500
8	いっぽ5	2023/9/6	勝早桜5	美國桜	美津照重	かすみ3	2024/7/10	308	316	1.03	482,900
9	にちか5	2023/9/11	英貞	梅栄福	金忠平	いちか2	2024/7/10	303	287	0.95	391,600
10	夢百合桜5	2023/10/24	若百合	勝早桜5	安福久	みゆう3	2024/8/8	289	329	1.14	650,100
11	夢美諒5	2023/11/17	美津利奈	秋忠平	安福久	ひかる3	2024/8/8	265	331	1.25	564,300
12	夢来美津5	2023/11/24	北美津久	勝早桜5	百合茂	らいむ2	2024/9/11	292	387	1.33	620,400
13	夢久百合5	2023/12/7	百合茂	安福久	平茂晴	よしの29	2024/9/11	279	307	1.10	443,300
14	夢鈴桜5	2023/12/15	鈴音	勝早桜5	安福久	わかば28	2024/9/11	271	328	1.21	546,700
15	夢麦栄5	2023/12/18	梅栄福	秋忠平	百合茂	むぎ4	2024/9/11	268	293	1.09	376,200
16	ふたば5	2023/12/15	鈴音	勝早桜5	安福久	わかば28	2024/10/10	300	298	0.99	447,700
17	夢紀照6	2024/1/21	紀多福	美津照重	平茂勝	いくこ25	2024/11/13	297	325	1.09	525,800
18	夢若安6	2024/1/21	若百合	安福久	百合茂	あんず29	2024/11/13	297	327	1.10	640,865
19	夢百美津6	2024/3/25	北美津久	百合茂	安福久	もも26	2024/12/12	262	326	1.24	667,700
20	ざくろ6	2024/1/30	梅栄福	百合茂	安福久	すず30	2024/12/12	317	316	1.00	492,800
21	にいな6	2024/2/17	梅栄福	百合勝安	芳之国	あんな28	2024/12/12	299	297	0.99	330,000
22	しおりの6	2024/2/28	鉄晴幸	安福久	百合茂	しおり29	2024/12/12	288	330	1.15	550,000
23	みなみの6	2024/3/7	百合美	福乃百合	北平安	ゆきの30	2024/12/12	280	316	1.13	375,100
24	夢待福6	2024/4/6	紀多福	勝早桜5	安福久	こまち28	2025/1/15	284	375	1.32	775,500
25	夢姫之福6	2024/4/7	福之姫	安福久	平茂晴	さんご26	2025/1/15	283	340	1.20	830,500
26	ここなつ6	2024/3/27	百合美	若百合	金忠平	なつひめ28	2025/1/15	294	330	1.12	478,500
27	夢春美津6	2024/3/23	北美津久	華春久	若百合	はるな1	2025/2/13	327	353	1.08	665,500
28	夢貞福6	2024/4/19	英貞	安福久	平茂晴	さんご26	2025/2/13	300	333	1.11	702,900
29	夢英吉6	2024/5/14	英貞	安福久	平茂晴	よしの29	2025/2/13	275	404	1.47	790,900
30	あんり6	2024/4/7	若百合	北平安	安福久	じやすみん27	2025/2/13	312	360	1.15	644,600
31	ちとせ6	2024/5/11	鉄晴幸	勝早桜5	北平安	ななせ3	2025/3/12	305	300	0.98	552,200

表6 黒毛和種 肥育牛出荷一覧（2024年度）

番号	出荷日	登録名号	性別	生後 月齢	父	母	母方祖父	祖母の父	格付 等級	胸最長 筋面積(cm <sup>2</sup> )	歩留 基準値	BMS	枝肉重量 (kg)
1	2024/7/16	夢蒼葉4	去勢	2.78	夢勝重26	若百合	安平幸	あおい1	A5	68	72.5	10	597
2	2024/9/24	あいり4	雌	30.1	夢勝重26	花平安	安平幸	ふうか28	B4	57	71.3	6	517
3	2024/9/24	夢勝百合4	去勢	30.1	夢勝重26	若百合	金忠平	なつひめ28	B4	56	71.9	5	512
4	2024/10/4	はる5	雌	12.6	安亀忠	茂洋	菊安舞鶴	さや23	B3	37	72.8	4	223

表7 日本短角種 肥育牛出荷一覧（2024年度）

番号	出荷日	登録名号	性別	生後 月齢	父	母	母方祖父	祖母の父	格付 等級	胸最長 筋面積(cm <sup>2</sup> )	歩留 基準値	BMS	枝肉重量 (kg)
1	2024/4/5	夢虎男4	去勢	27.5	辰藤	満伯2484	牧姫54	ゆき28	A2	45	72.1	2	428
2	2024/4/5	こんぺいとう4	雌	27.3	陣音	満伯2484	辰錦	くらら	A2	50	72.4	2	426
3	2024/11/8	ゆうこりん4	雌	31.5	辰藤	帝門夢26	桜頼5	あすな31	B2	52	70.4	2	462

表8 その他の出荷牛（2024年度）

No.	名号	生年月日	血 統				出荷日	日齢 (日)	体 重 (kg)	DC (日)	販 売 価 格 (税込:円)	備 考
			父	母	母方父	母方祖父						
1	あたり 30	2018/10/24	満伯 2484	牧姫 54	辰錦	ゆき 28	2024/6/13	2059	805	0.39	390,500	廃用出荷 (経産肥育)
2	いちご 23	2011/8/9	金忠平	平茂晴	平茂勝	いちこ 21	2024/8/8	4748	760	0.16	498,300	廃用出荷 (経産肥育)
3	さや 23	2011/12/2	茂洋	菊安舞鶴	安福(岐阜)	きょうこ 3の 5	2024/8/8	4633	641	0.14	316,800	廃用出荷

No.	出荷日	登録名号	生年月日	性別	生後月齢	父	母	母方祖父	祖母の父	個体識別番号	登録番号	備考
1	2025/1/10	夢太陽 6	2024/5/16	雄	16.6	拓忠平	たつひめ 4	英貞	勝平 1	16868-8841-8	2024 子北黒 1686888419	種雄牛候 補販売

表9 黒毛和種 体内受精卵（2024年度は販売無し）

表10 豚飼養状況（2024年度）

(単位 頭)

	種雄豚	経産豚	未経産豚	育成豚	肥育期	子豚期	人工乳期	哺乳期	計
4月	3	6	4	1	41	23	17	11	106
5月	3	6	4	3	20	32	24	15	107
6月	3	7	3	3	29	18	27	11	101
7月	2	8	5	1	30	33	11	32	122
8月	2	10	3	1	43	18	31	38	146
9月	2	9	3	1	33	18	52	30	148
10月	2	8	3	1	23	49	41	0	127
11月	2	10	2	0	39	44	15	18	130
12月	2	11	1	4	47	31	18	9	123
1月	1	10	1	4	56	18	20	18	128
2月	1	10	1	3	32	26	29	38	140
3月	1	10	0	3	21	38	34	16	123

表11 肥育豚出荷状況（2024年度）

月	出荷頭数 (頭)	出荷 総重量 (kg)	平均出 荷体重 (kg)	枝肉 総重量 (kg)	平均枝 肉重量 (kg)	平均枝 肉歩留 まり (%)	平均背 脂厚 (cm)	枝肉格付け(頭)					上物率 (%)
								極上	上	中	並	等外	
4月	13	1495.0	115.0	1013.5	78.0	67.8	2.6	0	3	6	4	0	23.1
5月	19	2173.5	114.4	1453.0	76.5	66.9	3.1	0	14	3	2	0	73.7
6月	16	1825.5	114.1	1224.5	76.5	67.1	2.2	0	13	1	2	0	81.3
7月	12	1371.5	114.3	906.5	75.5	66.1	2.5	0	4	4	4	0	33.3
8月	12	1371.0	114.3	908.5	75.7	66.3	2.2	0	9	1	1	1	75.0
9月	20	2278.5	113.9	1506.5	75.3	66.1	2.1	0	9	10	1	0	45.0
10月	19	2180.0	114.7	1447.0	76.2	66.4	2.3	1	7	8	3	0	42.1
11月	15	1742.5	116.2	1140.5	76.0	65.5	1.7	0	12	3	0	0	80.0
12月	15	1737.0	115.8	1143.5	76.2	65.8	2.6	0	7	3	5	0	46.7
1月	22	2565.0	116.6	1734.0	78.8	67.6	2.3	0	14	5	3	0	63.6
2月	24	2806.5	116.9	1867.0	77.8	66.5	2.1	0	16	7	1	0	66.7
3月	27	3144.5	116.5	2091.5	77.5	66.5	2.1	0	19	6	1	1	70.4
合計	214	24690.5		16436.0				1	127	57	27	2	
平均	15		115.2		76.7	66.5	2.3						58.4

表 12 豚分娩・出荷状況 (2024 年度)

番号	母豚 No.	産次	分娩年月日	総産子頭数(頭)	白子頭数(頭)	黒子頭数(頭)	分娩時事故件数(件)	平均生時体重(kg)	哺乳開始頭数(頭)	離乳頭数(頭)	平均3週齢体重(kg)	離乳率(%)	出荷頭数(頭)	平均出荷時体重(kg)	枝肉総重量(kg)	平均枝肉重量(kg)	背脂肪(cm)	上物率(%)	備考
1	LW47	6	2024/4/12	18	2	0	1	1.241	15	11	5.600	73.3	11	113.3	823.5	74.9	2.3	27.3	
2	LW52	1	2024/5/8	13	0	0	0	1.084	13	13	4.853	100.0	13	114.3	992.0	76.3	2.6	30.8	
3	L49	5	2024/5/13	17	1	0	0	1.539	16	15	6.776	93.8	15	116.4	1141.5	76.1	1.6	80.0	
4	LW53	1	2024/6/18	11	0	0	0	1.163	11	11	5.950	100.0	7	116.4	543.5	77.6	2.4	71.4	育成繩上4頭
5	LW51	2	2024/7/23	11	0	0	1	1.410	10	10	8.350	100.0	10	115.3	753.5	75.4	2.6	50.0	
6	LW54	1	2024/7/29	8	0	0	0	1.335	8	8	6.000	100.0	8	116.0	623.5	77.9	2.2	62.5	
7	LW55	1	2024/7/30	14	0	0	0	1.027	14	13	4.600	92.9	13	116.9	1031.5	79.3	2.2	76.9	
8	LW56	1	2024/8/24	9	0	0	0	1.007	9	7	5.200	77.8	7	116.1	546.5	78.1	1.9	71.4	
9	LW48	5	2024/8/27	20	2	0	4	1.357	14	11	7.268	78.6	11	116.7	857.0	77.9	2.3	54.5	
10	LW47	7	2024/8/31	21	1	0	1	1.166	19	13	8.700	68.4	13	117.4	1002.5	77.1	2.1	46.2	
11	LW46	7	2024/9/12	16	1	0	0	1.248	15	13	4.647	86.7	13	116.4	1000.5	77.0	2.0	92.3	
12	LW52	2	2024/9/29	17	0	0	0	1.277	17	15	8.093	88.2	9	116.6	706.0	78.4	2.4	55.6	2024年度9頭出荷 2025年度5頭出荷 予定
13	LWD57	1	2024/11/18	13	7	0	0	1.355	6	6	6.867	100.0							
14	LWD58	1	2024/11/20	14	2	0	0	1.472	12	12	6.103	100.0							
15	LWD59	1	2024/12/12	10	0	1	0	1.109	9	9	5.123	100.0							
16	LW51	3	2025/1/1	13	0	0	0	1.205	13	11	5.247	84.6							
17	LW55	2	2025/1/11	14	0	0	3	1.150	11	11	5.740	100.0							
18	LW54	2	2025/1/13	7	0	0	0	1.319	7	7	7.217	100.0							
19	LW56	3	2025/2/3	13	0	3	1	1.044	9	9	6.927	100.0							
20	LW48	6	2025/2/15	20	6	0	0	1.181	14	10	5.274	71.4							
21	LW52	4	2025/2/19	18	18	0	0	1.104	18	15	4.600	83.3							
22	L264	1	2025/3/12	7	0	0	0	1.392	7										
23	L49	6	2025/3/13	12	2	0	0	1.485	10										
合計				316	42	4	11		277	230			130		10021.5				
平均				13.7	1.8	0.2	0.5	1,247	12.0	11.0	6.15	90.4	10.8	116.0		77.2	2.2	59.9	

表 13 鶏飼養状況 (2024 年度)

(単位 羽)

鶏種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
さくら	103	113	179	179	177	176	176	127	105	105	104	102	1,646	137.2
もみじ	102	112	179	179	179	179	179	136	110	110	110	110	1,685	140.4
地鶏	40	66	63	57	18	1							245	40.8
ブロイラー	0	19	32	12	8	3	1						75	10.7
計	245	310	453	427	382	359	356	263	215	215	214	212	3,651	277.6

表 14 産卵状況 (2024 年度)

(単位 羽)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ羽数	6,158	6,348	6,080	6,260	6,198	5,963	6,113	6,158	6,665	6,638	5,953	6,574	75,108	6,259.0
平均羽数	205	205	203	202	200	199	197	205	215	214	205	212	2,462	205.2
産卵数	5,759	5,896	5,662	5,741	5,620	5,222	4,709	4,451	6,260	6,264	5,644	6,174	67,402	5,616.8
産卵率 (%)	93.5	92.9	93.1	91.7	90.7	87.6	77.0	72.3	93.9	94.4	94.8	93.9	89.7	89.7

表15 繁殖羊名簿（2024年度）

番号	種類	性別	耳標番号	登録番号	生年月日	父名号	母名号	備考
1	テクセル	雄	1637	血♂第36号	2020/3/28	BRENLEY401/15	血♀第326号	外部導入
2		雌	1113	血♀第35号	2014/3/16	TX21100077	TX2120450	
3		雌	209	-	2020/3/19	1052	1704	
4		雌	21・10	-	2021/3/17	1052	1618	
5		雌	21・13	-	2021/3/18	1052	1704	
6		雌	2204	-	2021/3/14	22	1604	
7	サフォーク	雄	25	-	2020/2/19	2018-31	2017-38	8/18 外部導入北海道立総合研究機構畜産試験場
8		雄	55	-	2019/3/15	55213	55620	2023/11/8 導入加森観光株式会社 8/10 死亡
9		雄	337	-	2023/2/27	2021-47	2020-42	12/4 外部導入北海道立総合研究機構畜産試験場
10		雌	1801	-	2018/3/4	22	1606	
11		雌	21・3	-	2021/3/14	22	1604	
12		雌	21・5	-	2021/3/15	22	1614	
13		雌	21・9	-	2021/3/16	22	1622	
14		雌	2213	-	2023/3/19	25	215	
15		雌	1622	-	2016/4/7	4513	6019	6/7 死亡

表16 肥育羊名簿（2024年度）

番号	種類	性別	耳標番号	登録番号	生年月日	父名号	母名号	備考
1	テクセル		2406		2024/3/10	1637	1113	2/12 出荷
2			2407		2024/3/12	1637	209	2/12 出荷
3			2408		2024/3/12	1637	209	2/18 出荷
4			2409		2024/3/13	1637	2110	2/12 出荷
5			2410		2024/3/13	1637	2110	
6			2411		2024/3/13	1637	2110	2/18 出荷
7			2412		2024/3/14	1637	1704	2/12 出荷
8			2413		2024/3/17	1637	2113	2/18 出荷
9			2414		2024/3/17	1637	2113	2/18 出荷
10	サフォーク		2415		2024/3/21	25	213	
11			2416		2024/3/21	25	1622	2/12 出荷
12			2417		2024/3/21	25	1622	2/18 出荷
13			2418		2024/3/22	25	2213	
14			2401		2024/3/7	25	1801	
15			2402		2024/3/7	25	1801	
16			2403		2024/3/8	25	215	
17			2404		2024/3/8	25	215	2/18 出荷
18			2405		2024/3/10	25	219	2/12 出荷

表17 子羊名簿（2024年度）

番号	種類	性別	耳標番号	登録番号	生年月日	父名号	母名号	備考
1	テクセル	雌	2504		2025/3/7	血♂第1号	2308	
2		雌	2510		2025/3/13	2016-22	213	
3		雄	2514		2025/3/28	血♂第1号	2113	
4		雄	2515		2025/3/28	血♂第1号	2113	
5	サフォーク	雌	2501		2025/3/5	2016-22	2213	
6		雌	2502		2025/3/5	2016-23	2213	
7		雄	2503		2025/3/6	2016-22	215	
8		雄	2504		2025/3/6	2016-22	215	
9		雌	2506		2025/3/8	2016-22	219	
10		雄	2507		2025/3/8	2016-22	1801	
11		雄	2508		2025/3/8	2016-22	1801	
12		雌	2509		2025/3/13	血♂第1号	2311	
13		雌	2511		2025/3/13	2016-22	213	
14		雌	2512		2025/3/28	血♂第1号	2306	
15		雄	2513		2025/3/28	血♂第1号	2306	

表18 羊分娩状況（2024年度）

番号	種類	母羊番号	交配雄羊	分娩年月日	産次	第一子			第二子			第三子		
						性別	生時体重	識別番号	性別	生時体重	識別番号	性別	生時体重	識別番号
1	テクセル	209	血♂第1号	2025/3/10	3	♀	3.4	3/11 死亡	♀	2.5	3/11 死亡			
2		1113	血♂第1号	2025/3/7	7	♀	3.7	3/8 死亡						
3		2110	血♂第1号	2025/3/9	2	♀	4.5	3/11 死亡						
4		2113	血♂第1号	2025/3/28	2	♂	2.7	2514	♂	4.3	2515			
5		2204	血♂第1号	2025/4/7	1	♂	4.5	死産						
6		2308	血♂第1号	2025/3/7	1	♂	4.2	2505	♀	3.7	3/8 死亡			
7	サフォーク	213	2016-22	2025/3/13	2	♀	5	2510	♀	5.3	2511			
8		215	2016-22	2025/3/6	2	♂	5.1	2503	♂	4.2	2504	♀	5.2	死産
9		219	2016-22	2025/3/8	2	♀	4.4	2506	♂	5.9	死産	♀	5.8	死産
10		1801	2016-22	2025/3/8	4	♂	5.6	2507	♂	5.4	2508			
11		2213	2016-22	2025/3/5	1	♀	5.1	2501	♀	3.1	2502			
12		2301	血♂第1号	2025/3/16	1	♂	4.8	死産	♀	4.9	死産	♂	4.8	死産
13		2306	血♂第1号	2025/3/28	1	♀	4.1	2512	♂	4.3	2513			
14		2311	血♂第1号	2025/3/13	1	♀	6.6	2509						

表 20 作付面積（2024 年度）〔元野幌地区〕

圃場番号	面積 (ha)	牧草種	播種年度
1-1	6.0	OG/MF/WC	
1-2	5.6	OG/MF/TF/KB	
1-3	5.3	OG/RCG/MF	
2-1	2.4	RCG/QG	
2-2	2.3	RCG/QG	
2-3	2.3	OG	2017
2-4	2.4	OG	2017
2-5	2.5	OG/FL/ALF/WC/MF	2020
2-6	2.4	RCG	2019
2-7	1.3	RCG/QG/OG	
2-8	2.2	RCG/QG	
2-9	2.4	RCG/QG	
2-10	1.5	RCG/QG	
3-2-A	1.5	RCG	2019
3-2-B	4.0	RCG/SVG	
3-3	3.2	RCG/OG/SVG	
3-4	5.7	RCG/OG/SVG	
3-5	5.6	RCG/OG/SVG	
合計	58.6		

表 21 播種実績（牧草）（2024 年度）〔元野幌地区〕

・播種実績なし

表 22 ロールベールサイレージ生産量（2024 年度）〔元野幌地区〕

圃場番号	面積 (ha)	牧草種	播種年度	一番草			二番草			三番草			合計
				刈取日	収穫日	個数	刈取日	収穫日	個数	刈取日	収穫日	個数	
1-1	6.0	OG/MF/WC		7/11	7/15	94							94
1-2	5.6	OG/MF/TF/KB		7/11	7/15								
1-3	5.3	OG/RCG/MF		7/10	7/12	98							98
2-1	2.4	RCG/QG		6/18	6/21	41	8/15	8/19	18				59
2-2	2.3	RCG/QG		6/14	6/19	43	8/15	8/19	17				60
2-3	2.3	OG	2017	7/1	7/4	37	8/15	8/19	10	10/9	10/13	8	19
2-4	2.4	OG	2017	7/1	7/4	31	8/15	8/19	10	10/9	10/13	7	48
2-5	2.5	OG/FL/ALF/WC/MF	2020	6/6	6/8	22	8/4	8/7	11	10/9	10/13	13	46
2-6	2.4	RCG	2019	7/10	7/13	47	9/6	9/8	19				66
2-7	1.3	RCG/QG/OG		6/25	6/29	29	9/2	9/5	7				36
2-8	2.2	RCG/QG		6/25	6/29	51	9/2	9/5	17				68
2-9	2.4	RCG/QG		6/25	6/29	55	9/6	9/8	27				82
2-10	1.5	RCG/QG		6/25	6/29	33	9/6	9/8	11				44
3-2-A	1.5	RCG	2019	5/29	6/3	12	8/5	8/10	8	10/5	10/9	4	24
3-2-B	4.0	RCG/SVG		5/29	6/3	42	8/5	8/10	16	10/5	10/9	15	73
3-3	3.2	RCG/OG/SVG											
3-4	5.7	RCG/OG/SVG		6/11	6/15	98	8/6	8/10	17	10/5	10/9	21	136
3-5	5.6	RCG/OG/SVG		6/11	6/15	74	8/6	8/10	27	10/5	10/9	23	124
合計	58.6					184			124			69	1101

OG：オーチャードグラス, MF：メドウフェスク, WC：シロクローバ, TF：トールフェスク, KB：ケンタッキーブルーグラス, RCG：リードカナリーグラス,

QG：シバムギ, FL：フェストロリウム, ALF：アルファルファ, SVG：ハルガヤ

例) RCG/QG・・・リードカナリーグラスが最も多く、次にシバムギが多い

### III-3 作物生産ステーション

#### 1. 基本方針

酪農学園の建学の精神と教育理念に基づく作物生産の実践的な教育・研究の推進およびその質を保証する場を提供することを基本とする。大学1年生の健土健民入門実習を中心とする基盤教育をはじめ、主に大学3年生以降の専門教育に関わる実験・実習や卒業論文および大学院研究が効果的に実施できる場を提供する。同様に附属高校生の作物実習が効果的に実施できる場も提供する。また、地域社会との連携により、作物生産を通じた社会貢献の場を提供することも目指す。

本ステーションは、実習棟、ガラス温室、乾燥舎、ビニールハウスなどの施設部門と、実習圃場、展示圃場、研究圃場などの圃場部門から構成される。

対象作物は、水稻、畑作物、野菜、花卉を中心とするが、酪農生産および肉畜生産ステーションでは展開できない飼料作物の精密な実験・実習も対象とする。圃場生産にあたっては、有機物の循環を基本とした作物生産を行う。圃場副産物の一部を肉畜生産ステーションにおける飼料として提供する。また、各ステーションと連携している圃場機械部門と牧草収穫等の作業協力、そして車両機器整備の共通化により、効率的な運用を図っている。

#### 2. 概要

専任技師2名、嘱託技師1名および臨時技術職員4名で、圃場および施設において栽培した作物の管理作業を実施した。

##### (1) 圃場部門（表1）

大学の圃場部門としては、基盤教育に関する圃場は35.9aで、その内訳は、作物実習圃場（大学・健土健民入門実習）18.4a、基礎ゼミ農園（大学1年生の基礎演習）・体験圃場17.5aである。専門教育および研究に関する圃場は130.1aを栽培管理した。その内訳は、展示圃場が6.8a、実習および試験圃場が123.3aである。

高校の圃場部門は、実習に関する圃場として40.2aを栽培管理した。2020年度にFD圃場の排水不良場所に14aの水田を新規に造成し、2021年度より水稻栽培を実施している。

##### (2) 施設部門（表2）

施設部門としては、44.0aの栽培管理を実施した。その内訳はガラス室15.3a、ビニールハウス28.7aである。ガラス室としては、花卉温室、野菜温室、作物温室および作物保護温室の4棟（各3.3a）、実験圃場ガラス温室棟としては1棟（1.9a）、多目的利用棟としては1棟（0.2a）の栽培管理を実施した。ビニールハウスとしては、大学の施設部門は、1、2、3、4および5号ハウスの5棟（各2.2a）、FE01およびFE02ハウスの2棟（各1.0a）、FE04ハウスの1棟（0.9a）、高校の施設部門は、FC01、FC02、FC05およびFC06ハウスの4棟（各2.2a）、FC03ハウスの1棟（1.6a）で栽培管理を実施した。また、FC07①・②ハウス（各2.2a）2棟を新設し、2023年度からの施設栽培が可能となった。

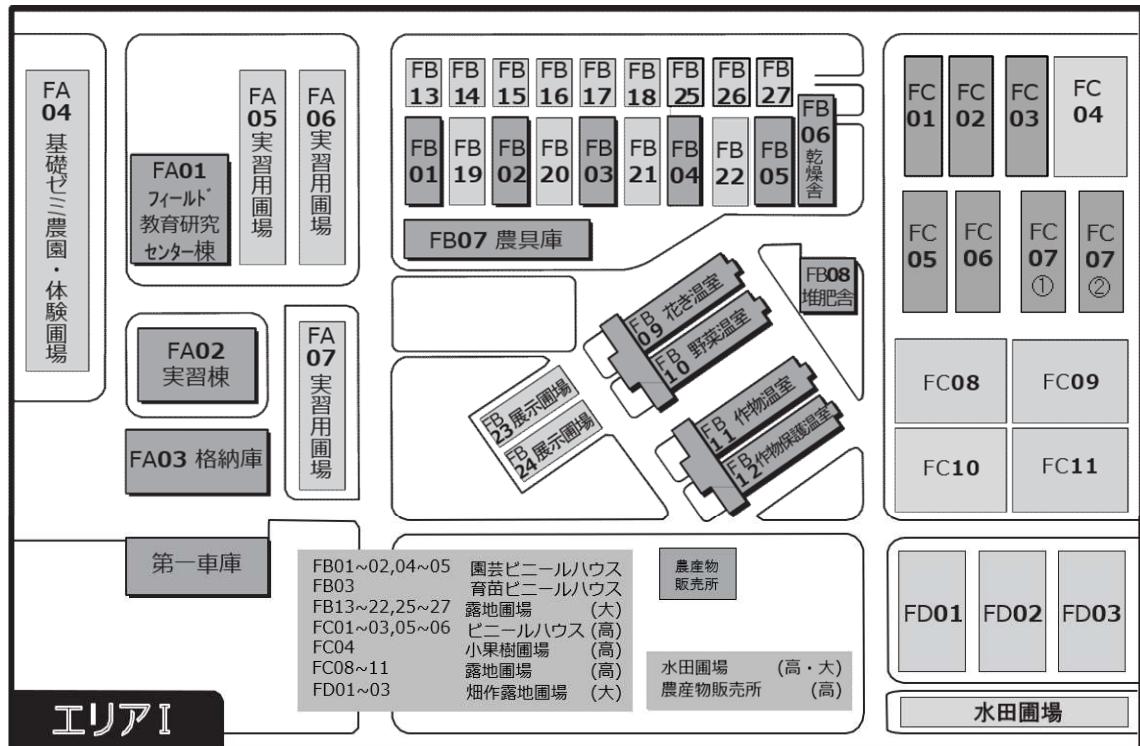
これら施設部門の管理作業を表3に示した。

##### (3) その他

酪農生産ステーションにおける職員の減少およびサルモネラ感染症の発生が生じたため、作物の専任・嘱託技師3名が定期的に朝の搾乳作業を含む牛舎の支援業務に従事した。前年の大型乾燥機の出火への対策として、エリアII実験温室地下の小型乾燥機を地上1階に移動した。

また、エリアIガラス温室作物棟に大型乾燥機を新設した。循環型農業の推進を目的に、江別市の株式会社菊田食品（連携協定締結先）で生じる食品残渣（豆腐の廃棄物）を定期的に回収し、学内の植物残渣と混ぜた堆肥づくりに取り組んだ。社会貢献活動の一環として、札幌市厚別区における食育活動ボランティアへの協力（耕起作業、4月）、江別市保育園での畑づくり指導（5月）、クボタアグリフロントでの野菜販売（9月）等を実施した。札幌市デジタル田園都市構想における栽培指導について検討したが、実施に至らなかった。2025年度の実施に向け、江別市食育事業の受け入れについて江別市経済部農業振興課と協議した。同様に、次年度の学校菜園プロジェクトの実施について野幌若葉小学校と協議した。農食環境学群との共催により、附属高校の協力も得て農産物販売を含む収穫体験会を実施した（10月5日）。サツマイモの収穫体験に加えて、野菜やベーコン、アイス等の農畜産物の販売、カレーやソーセージなどの飲食の提供を行った。また、学内キャンパス案内を実施した。地域へのPRにくわえて、学内関係部署との連携が強化された。12月17日、技師および教員合同で、タマネギ等の特別栽培に取り組む駒谷農場（長沼町）およびワインをブドウ栽培から取り組む栗澤ワインズ（岩見沢市）を見学した。1月29日、学内農産物の学生への還元を目的に学園ホールにてジャガイモスープを提供した。

### 3. 施設・圃場図



主な土地	面積
露地栽培露地圃場	12,911.5 m <sup>2</sup>
園芸作物露地圃場	591.0 m <sup>2</sup>
展示圃場	814.7 m <sup>2</sup>
畑作物露地圃場	4,182.0 m <sup>2</sup>
サンプル採取圃場	116.6 m <sup>2</sup>
水田圃場	1,400 m <sup>2</sup>

主な施設	面積
実習棟	1,275.0 m <sup>2</sup>
ビニールハウス	2,824.7 m <sup>2</sup>
花きガラス温室	331.0 m <sup>2</sup>
野菜ガラス温室	331.0 m <sup>2</sup>
作物ガラス温室	331.0 m <sup>2</sup>
作物保護ガラス温室	331.0 m <sup>2</sup>

表1 各圃場における栽培作物（2024年度）

教育区分	教育研究目的区分		作物の種類	面積(a)
大学基盤教育に関する圃場	作物実習圃場	FA05・06・07	スイートコーン、エダマメ、ダイズ、ジャガイモ、ポップコーン	13.2
	基礎ゼミ農園	FA04	スイートコーン、ジャガイモ、ニンジン他	15.5
	見本園		各種作物	2.0
大学専門教育および研究に関する圃場	展示圃場	FB23・24	アスパラガス	4.0
			アスパラガス	
	展示圃場	FE11	ムギ類（オオムギ、エンバク、秋播コムギ、春播コムギ、ライムギ、ライコムギ） 牧草類（オーチャード、チモシー、レッドトップ、ホワイトクローバー、レッドクローバー、アルファルファ）	2.8
	実習圃場	FB19・21・26	コールラビ、ニンジン、タマネギ、ムギ、スイートコーン、ジャガイモ、ブロッコリー	6.2
	試験圃場	FB13・14・15・16 FB17・18・20・22 FB25・27 FD01・02・03 FE09・10・12・13 FF01・02・03・04	ダイズ、アズキ、ジャガイモ、スイートコーン、デントコーン、ムギ、陸稻、野菜類（トマト、ナス、ブロッコリー、サツマイモ、ニンジン）、他	120.3
高校・大学実習に関する圃場	水田圃場		水稻	14.0
高校実習に関する圃場		FC04・08・09 FC10・11	ダイズ、スイートコーン、ジャガイモ、ブルーベリー、ニンジン、ダイコン、ズッキーニ、カボチャ、ブロッコリー他	44.6

表2 各施設における栽培作物（2024年度）

施設区分	作物の種類			面積(a)
大学専門教育および研究に関するガラス温室	花き棟	FB09	スターチス、カーネーション、ユリ	3.3
	野菜棟	FB10	高糖度トマト、アスパラガス、ミニトマト	3.3
	作物棟	FB11	水稻	3.3
	作物保護棟	FB12	アスパラガス、野菜類	3.3
	実験圃場 ガラス温室棟	FE05	水稻、育苗	1.9
大学専門教育および研究に関するビニールハウス		FB01	スイートコーン、トマト、カボチャ	2.2
		FB02	アスパラガス	2.2
		FB03	育苗（野菜類、花壇用草花）	2.2
		FB04	トマト、スイカ、メロン	2.2
		FB05	トマト、メロン	2.2
		FE01	ユリ	1.0
		FE02	ミニトマト、イチゴ、各種ハーブ	1.0
		FE04	各種作物	0.9
高校実習に関するビニールハウス		FC01	育苗（野菜類、花壇用草花）	2.2
		FC02	葉菜類	2.2
		FC03	育苗（野菜類、花壇用草花）	1.6
		FC05	ピーマン、パプリカ、ナス、スイカ、ゴーヤ	2.2
		FC06	ショウガ、サトイモ、オクラ、ラッカセイ	2.2
		FC07①	メロン、スイカ	2.2
		FC07②	トマト	2.2

表3 圃場・施設における管理作業（2024年度）

圃場名	施設名	用途	作物名	日常管理	4月			5月			6月		
					上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
エリアI				環境整備(草刈りなど)	清掃(枝・石) 除雪ボール回収	小町オイル交換 軽トラタイヤ交換		除草剤			除草剤		
FAO2	実習棟	実習室/実験実習室 資材庫/物品庫/冷蔵庫/保冷庫		教室予約の掲示 清掃・消毒	各教室清掃								
FAO3	格納庫			機械整備									
FAO4	露地圃場	基礎ゼミ農園 見本園	各種作物	除草・残渣処理 ・農具整備 栽培管理・収穫			心土破碎 耕起・整地	区割り・札設置 残渣Box設置 看板設置	揭示物作成			除草	
FAO5	露地圃場	健土健民入門実習	スイートコーン	健土健民入門実習 での管理			心土破碎		耕起・整地	施肥・マルチ張り・播種	防鳥網設置	間引き・除草	除草
FAO6	露地圃場	健土健民入門実習	エダマメ	健土健民入門実習 での管理			心土破碎			耕起・整地	施肥・播種・ ハオバオ放牧	除草	除草
FAO7	露地圃場	健土健民入門実習	ジャガイモ	健土健民入門実習 での管理			心土破碎	耕起・整地	施肥・植付け			中耕・ 培土	ホシフヨウ定植
F B 全体				圃場周り草刈り	ハウス側窓自動開閉器取付		電牧設置						
FB01	花壇		各種花									定植準備	定植
FB01	ハウス(1号)	健土健民入門実習	スイートコーン・トマト・カボチャ		耕起・マルチ/アグリシート張り		スイートコーン定植	灌水	灌水・トマト定植	マルチ撤去・追肥・中耕除草			
FB02	ハウス(2号)	卒論・研究	アスパラガス		灌水チューブ設置			農葉散布			農葉散布		
FB03	ハウス(3号)	育苗用ハウス	各種作物	栽培管理(育苗管理・灌水等) ハウス除草	播種野菜苗鉢上げ各種苗灌水	花壇用草花撒種	花壇苗鉢上げ・苗すかし		片付け清掃				
FB04	ハウス(4号)	教職コース	メロン・スイカ・トマト			トマト播種	メロン・スイカ播種	耕起・トマト定植	メロン・スイカ定植	一般管理	防除		
FB05	ハウス(5号)	教職コース	トマト・メロン			堆肥散布	耕起	マルチ張り	誘引枠設置	メロン・トマト管理	一般管理	防除	
FB06	乾燥舎	作物の乾燥・脱穀	豆類・麦類	もみ散整理・ 清掃・片付け									
FB07	農具庫			実習準備農具整理									
FB08	堆肥舎	残渣置き場 堆肥の生産		堆肥生産									
FB09	花き温室	卒論・研究	花き類		農葉散布			農葉散布			農葉散布	農葉散布	
FB10	野菜温室	卒論・研究	トマト・ミニトマト					トマト移植	一般管理				
FB11	作物温室	卒論・研究	水稻					栓内耕起					
FB12	作物保護温室	卒論・研究	各種作物					農葉散布			農葉散布		
FB13	露地圃場	卒論・研究	各種作物			堆肥散布・耕起							
FB14	露地圃場	卒論・研究	陸稻		教育実習								
FB15	露地圃場	卒論・研究	各種作物		教育実習	ピニール張り							
FB16	露地圃場	卒論・研究	陸稻		教育実習								
FB17	露地圃場	卒論・研究	各種作物		教育実習								
FB18	露地圃場	卒論・研究	各種作物					耕起					
FB19	露地圃場	実習	コールラビ・タマネギ・ニンジン	実習用の管理		心土破碎	堆肥散布・ 耕起	建立・定植・播種・灌水	農葉散布				
FB20	露地圃場	卒論・研究	アスパラガス			圃場準備			農葉散布		立茎準備農葉散布		
FB21	露地圃場	卒論・研究	コムギ・ダイズ					電牧撤去	耕起				
FB22	露地圃場	卒論・研究	各種作物			心土破碎耕起							
FB23	露地圃場	展示圃場	アスパラガス		土壤処理剤散布		培渠設置			ハウス貼付	高設栽培設置		
FB24	露地圃場	展示圃場	アスパラガス		土壤処理剤散布			農葉散布			農葉散布		
FB25	露地圃場	卒論・研究	各種作物										
FB26	露地圃場	卒論・研究	スイートコーン								耕起		
FB27	露地圃場	卒論・研究	各種作物		教育実習								
F C 全体				ハウス側窓自動開閉器取付		耕起・整地		電牧設置				販売会	
FC01	ハウス	教職実習 高校実習	野菜類	灌水・除草	花苗移動 灌水								
FC02	ハウス	教職実習 高校実習	野菜類	灌水・除草			耕起	葉物野菜播種 灌水					
FC03	ハウス	育苗ハウス	野菜類	灌水	播種	花苗移動	花苗すかし		シクラメン 鉢詰				
FC04	果樹園	高校実習	ブルーベリー	灌水・除草		堆肥散布	整枝肥料散布			ブルーベリー収穫			
FC05	ハウス	高校実習	野菜類	灌水・除草		堆肥散布・耕起			ナス・ビーマン定植	トマト定植	整枝・誘引		
FC06	ハウス	(高校側)	野菜類	灌水・除草		堆肥散布・耕起		各種作物定植			収穫		
FC07①	新設ハウス(東)	高校実習	メロン・スイカ			堆肥散布・耕起	マルチ張り			定植	整枝・誘引		
FC07②	新設ハウス(西)	高校実習	トマト			堆肥散布・耕起		定植	整枝・誘引		収穫		
FC08	露地圃場	教育実習 高校実習	野菜類	除草・防除		心土破碎耕起		耕耘・敵たてマルチ張り	スイートコーン播種		電気牧柵設置		
FC09	露地圃場	教育実習 高校実習	ダイズ	除草・防除		心土破碎耕起		耕耘					
FC10	露地圃場	高校実習	ジャガイモ	除草・防除		心土破碎耕起	植付け		耕耘				
FC11	露地圃場	高校実習	野菜類	除草・防除		心土破碎耕起	定植・播種	一般管理					
FD01~3	露地圃場	卒論・研究	麦類・豆類・ジャガイモ		電気牧柵張り		耕耘		畝間耕耘		畝間耕耘	寒冷紗張り	
水田圃場	水田圃場	高校・大学実習	水稻						肥料散布耕起	代播き田植え	電気牧柵設置		
エリアII				環境整備(草刈り等)	清掃(枝・石) 除雪ボール回収								
F E 全体				残渣・残土処理	ハウス側窓自動開閉器取付	残渣 BOX 設置		除草剤		除草剤			
FE01	網室	卒論・研究	各種作物				栽培補助	耕起		除草			
FE02	ハウス	卒論・研究	各種作物										
FE03	機械庫			清掃 農具管理									
FE04	網室	卒論・研究	トマト・コムギ・西洋タンボボ他										
FE05	温室①温室内ガラス温室	卒論・研究	各種作物	清掃									
FE06	温室・実験棟	実習室 冷蔵室/冷凍室		清掃									
FE07	人工気象室	卒論・研究	各種作物									温度調査	
FE08	人工気象室	未使用											
FE09	露地圃場	病理サンプル採取圃場	各種作物					耕起・整地	播種・植付け	一般管理			
FE10	露地圃場	卒論・研究							耕起				
FE11	露地圃場	展示圃場	牧草・麦類	生育管理(除草・施肥・播種等)	電気牧柵設置	耕起	区画取り	耕起		コムギ防除		麦防除	
FE12	露地圃場	卒論・研究	各種作物							耕耘			
FE13	露地圃場	卒論・研究	牧草・豆類					耕起・整地	緑肥施肥込み				
FF01~04	露地圃場	卒論・研究	牧草・豆類	デントコーン		電気牧柵設置	心土破碎	耕起・鎮圧		耕起	牧草刈り取り	耕起	

※耕起：ロータリー、アッパーローター ※整地：ディスクハロー ※除草剤：ラウンドアップ

圃場名	7月			8月			9月			10月			11月			12月～3月
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
エリアI	除草剤			除草剤			除草剤			分析用土壤サンプリング			除雪ホール設置			除雪土壤分析
FA02	各教室清掃												指示物作成	指示物作成		整理・清掃
FA03	機械整備			▶ 清掃			清掃			清掃	農機格納溶接講習会	機械整備機械洗浄	片付け 機械洗浄			
FA04 基礎セミ農園 見本園	余根・液肥処理・ 工具整理									耕起						
	枝葉整理・ 収穫・片付け															
FA05	マレチ能去・除雪			収穫・処理	▶											
FA06	不織布撤去・ 開引き	除草		収穫・処理	▶	片付け			▶ 大豆収穫							
FA07				収穫・選別					ボップコーン収穫							
F B全体												電牧撒去				除雪
FB01 横花壇	除草			除草			除草			花壇撤去						
FB01	トマト収穫・ 整枝	ヨーン片付け	カボチャ整枝	カボチャ整枝			カボチャ収穫	トマト片付け								
FB02	農業散布			農薬散布			農薬散布			農薬散布			茎葉片付け	土運搬		
FB03	片付け滑溜															
FB04	トマト収穫・ 船管理							▶ 片付け								雪入れ
FB05	一般管理	トマト収穫		メロン収穫	▶ 片付け											除草 雪入れ
FB06	清掃			脱穀機移動					大豆・小豆脱穀							
FB07	農機具整備・工作 ・片付け・滑溜															
FB08	堆肥生産															
FB09		農薬散布		農薬散布	農薬散布		農薬散布			農薬散布			農薬散布			
FB10			ミニトマト 撤去片付け													
FB11				水稻防除			水稻防除			水稻防除			水稻防除			
FB12				農薬散布			農薬散布			農薬散布			茎葉片付け			
FB13	農薬散布	エンバク播種											エンバク播種			
FB14	教職実習 高校実習															
FB15	教職実習 高校実習							▶ ピニール撤去								
FB16	教職実習 高校実習								▶							
FB17	教職実習 高校実習								▶							
FB18																
FB19		収穫・片付け		収穫・片付け	緑肥播種	中耕・除草	緑肥細断・耕起									
FB20		農薬散布		農薬散布	剪定		農薬散布		農薬散布	農薬散布・ 支柱補強	茎葉片付け					
FB21		農薬散布		農薬散布	耕起・絶縁材播種		片付け部分耕起			電気牧柵設置			麦防除	電気牧柵撤去		
FB22																
FB23				農薬散布			農薬散布		農薬散布			茎葉片付け				
FB24		農薬散布		農薬散布			農薬散布		農薬散布			茎葉片付け				
FB25																
FB26		マルチ張り・撤去		防鳥ネット張り						収穫補助						
FB27	教職実習 高校実習															
F C全体	花・野菜管理	圃場均平					耕起			電牧撒去			農作物研究会	農具整理		
FC01																除雪
FC02	築地野菜 播種灌水															▶ 除雪
FC03	教職実習 高校実習	ボインセチア ア苗導入	ボインセチア 撒心	ボインセチア 鉢引	シクラメン 鉢替え	シクラメン 鉢替え	シクラメン 葉組み						シクラメン 播種			▶ 除雪
FC04	高校実習	ブルーベリー 一収穫											冬刈り			
FC05	高校実習 教職実習	取扱							▶ 片付け							除雪
FC06	高校実習 教職実習	取扱							▶ 片付け							除雪
FC07①	人工授粉 玉決め	▶		スイカ収穫		メロン収穫 片付け										
FC07②	収穫・一般管理								▶ 片付け							
FC08	高校実習				トウモロコシ収穫	片付け							堆肥散布			
FC09	高校実習							▶ 収穫 にわ積み					脱粒	堆肥散布		
FC10	教職コース 高校実習					収穫	▶						堆肥散布			
FC11	高校実習 一般管理・ 収穫							▶ 片付け					堆肥散布			
FD全体	畠間耕起			畠間耕起		耕起・絶縁 栽培寒冷抑制	耕起・綠肥 播種	耕起・綠肥 細断	耕起		綠肥細断		麦防除	電気牧柵片付け (ネット下ろし)		
FD01~03																
水田圃場									稻刈り	稻刈り	電牧撒去					
エリアII	除草剤			除草剤			除草剤					浅道BOX片付け 水道撤去 除雪機整備	除雪ボール設置			除雪
FE全体																周辺除雪
FE01		農薬散布	除草		農薬散布		農薬散布		農薬散布							周囲除雪
FE02																周囲除雪
FE03													農機具整備			農具庫整理
FE04																
FE05	清掃					寒冷紗張り										
FE06	清掃															▶ 物品確認
FE07	温度調査															
FE08																
FE09	一般管理					▶ 片付け										
FE10																
FE11	生産管理(除草・ 施肥・播種等) 牧草刈り取り							耕起・綠肥 細断								
FE12	耕起															
FE13	耕起			緑肥中耕		緑肥さき込み	防鳥ネット張り	緑肥播種・ 耕起	スイートコーン収穫	緑肥さき込み	コーナー収穫・ 耕起緑肥播種	電牧撒去				電気牧柵片付け (ネット下ろし)
FF全体 FF01~04	耕起 緑肥播種	耕起	緑肥中耕													

\*耕起：ロータリー \*除草剤：ラウンドアップ

## IV. 土壤分析



#### IV-1 土壤分析値 (2024年秋採取)

番号	圃場名	ステーション	利用区分	仮比重 g/cm³	pH H₂O	熱水抽出性 窒素 mgN/100g	有効態リン		交換性陽イオン			pH緩衝曲線							
							BrayNo.2 草地用		Truog 畑地用		カリウム mgK₂O /100g	マグネシウム mgMgO /100g	カルシウム mgCaO /100g	炭酸カルシウム添加量 mg/100g					
							mg P₂O₅/100g							0	100	250	500	750	1000
1	3	酪農生産	草地	1.0	5.4	15	72	46	66	50	334	6.5	6.7	6.9	7.0	7.0	7.0	7.0	
2	5	酪農生産	草地	1.0	5.5	15	99	53	41	51	295	6.0	6.2	6.5	6.7	6.8	6.8		
3	6	酪農生産	畑地	1.0	6.4	10	129	82	65	39	396	6.2	6.4	6.6	6.8	6.9	6.8		
4	7	酪農生産	草地	1.0	6.4	11	113	76	49	33	411	6.6	6.7	6.8	6.8	6.9	6.9	6.9	
5	8	酪農生産	草地	1.0	5.5	8	76	42	13	25	243	5.7	6.0	6.4	6.8	6.8	6.8		
6	9	酪農生産	草地	1.0	5.5	9	65	37	13	25	245	6.0	6.2	6.4	6.7	6.8	6.8		
7	10	酪農生産	草地	1.1	5.1	7	65	31	22	19	85	5.5	5.8	6.3	6.7	6.8	6.8		
8	11	酪農生産	草地	1.0	5.4	9	66	31	29	30	163	5.8	6.2	6.5	6.9	6.9	6.9		
9	12	酪農生産	草地	1.1	5.4	9	64	35	25	35	163	6.0	6.4	6.8	6.9	7.0	7.0		
10	13	酪農生産	草地	1.1	5.5	12	52	29	16	37	190	6.1	6.5	6.8	7.0	7.0	7.0		
11	14	酪農生産	草地	1.1	5.2	15	52	33	30	40	183	5.8	6.1	6.6	6.8	6.9	6.9		
12	15	酪農生産	草地	1.2	5.8	16	74	44	73	52	325	6.8	7.0	7.1	7.1	7.1	7.1		
13	16	酪農生産	草地	1.2	5.5	16	99	59	87	37	302	6.7	6.9	7.0	7.0	7.1	7.1		
14	17	酪農生産	畑地	1.2	7.3	16	139	117	186	57	497	7.1	7.1	7.1	7.2	7.2	7.2		
15	18	酪農生産	畑地	1.1	7.2	15	127	122	194	54	389	6.5	6.7	6.9	6.9	7.0	6.9		
16	19	酪農生産	畑地	1.1	7.2	15	116	91	209	49	404	7.0	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1		
17	20	酪農生産	草地	1.1	5.5	11	63	43	77	40	251	7.0	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1		
18	22	酪農生産	草地	1.0	5.7	30	115	52	141	46	206	6.1	6.2	6.5	6.7	6.8	6.8		
19	23	酪農生産	草地	1.1	6.3	5	43	26	15	32	281	6.1	6.4	6.7	6.9	6.9	7.0		
20	24	酪農生産	草地	0.9	5.1	9	60	26	14	25	186	5.7	5.8	6.0	6.3	6.6	6.7		
21	25	酪農生産	畑地	1.0	7.1	11	89	54	73	33	492	6.4	6.6	6.8	6.9	6.9	6.9		
22	26	酪農生産	畑地	1.0	6.4	11	102	57	71	41	415	6.3	6.5	6.7	6.8	6.9	6.9		
23	27	酪農生産	畑地	0.9	6.3	13	112	47	43	37	512	6.1	6.3	6.4	6.6	6.7	6.7		
24	28	酪農生産	草地	1.1	5.9	15	97	60	109	53	331	6.6	6.8	6.9	7.0	7.0	7.0		
25	29	酪農生産	草地	1.1	5.8	11	87	59	86	46	312	5.8	6.3	6.8	6.9	6.9	6.9		
26	31	酪農生産	畑地	1.1	6.3	6	87	48	29	26	308	5.7	6.0	6.4	6.7	6.8	6.8		
27	32	酪農生産	畑地	1.2	5.9	7	117	69	63	33	277	5.9	6.3	6.8	6.9	7.0	7.0		
28	33	酪農生産	草地	1.0	4.7	22	84	48	18	40	177	5.3	5.7	6.3	6.8	6.8	6.7		
29	34	酪農生産	草地	1.0	5.2	8	91	37	19	22	155	5.9	6.2	6.6	6.8	6.8	6.8		
30	35	酪農生産	草地	1.0	5.2	8	81	45	20	27	212	5.6	5.9	6.4	6.7	6.8	6.8		
31	36	酪農生産	草地	1.1	5.8	9	81	51	74	43	303	5.8	6.3	6.7	6.9	6.9	6.9		
32	37	酪農生産	草地	1.1	5.6	8	76	45	55	37	273	5.7	6.1	6.6	6.9	6.9	6.9		
33	38	酪農生産	草地	1.0	5.0	24	42	28	16	45	224	5.6	6.0	6.4	6.7	6.8	6.8		
34	39	酪農生産	草地	1.0	5.3	9	83	36	40	36	251	6.0	6.2	6.4	6.7	6.8	6.8		
35	40	酪農生産	草地	1.0	6.9	15	108	88	67	61	644	7.0	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1		
36	4-1	酪農生産	草地	0.8	5.5	43	59	33	12	69	468	5.9	6.1	6.4	6.7	6.7	6.7		
37	4-2	酪農生産	草地	0.8	6.0	44	74	35	21	97	556	5.9	6.1	6.5	6.7	6.8	6.8		
38	4-5	酪農生産	草地	0.7	5.8	42	57	31	15	75	397	5.5	5.7	6.1	6.5	6.7	6.7		
39	1-1	肉畜生産	草地	0.9	5.5	21	31	22	20	100	398	5.9	6.3	6.7	7.0	7.1	7.1		
40	1-2	肉畜生産	草地	0.8	5.8	39	48	27	59	115	457	5.5	5.9	6.4	6.9	7.0	6.9		
41	1-3	肉畜生産	草地	0.9	5.4	28	15	16	19	71	237	5.7	6.1	6.7	7.0	7.0	7.0		
42	2-1	肉畜生産	草地	0.7	5.5	37	55	35	21	102	528	5.9	6.1	6.4	6.7	6.9	6.8		
43	2-2	肉畜生産	草地	0.7	5.5	35	72	35	17	109	434	5.8	6.0	6.2	6.4	6.6	6.7		
44	2-3	肉畜生産	草地	0.7	5.2	35	64	41	19	65	357	5.5	5.6	5.9	6.2	6.5	6.6		
45	2-4	肉畜生産	草地	0.8	5.7	33	83	35	13	64	476	5.7	5.9	6.2	6.5	6.8	6.8		
46	2-5	肉畜生産	草地	0.8	5.9	36	55	27	13	93	475	5.8	6.0	6.3	6.6	6.8	6.8		
47	2-6	肉畜生産	草地	0.8	5.6	24	42	21	14	57	448	6.3	6.5	6.7	6.9	6.9	7.0		
48	2-7	肉畜生産	草地	1.0	5.5	23	36	27	23	115	403	5.8	6.5	6.9	7.1	7.1	7.1		
49	2-8	肉畜生産	草地	0.9	5.6	31	62	36	19	116	398	5.9	6.2	6.6	7.0	7.1	7.0		
50	2-9	肉畜生産	草地	0.8	6.1	37	82	38	29	87	594	5.9	6.0	6.4	6.7	6.9	6.9		
51	2-10	肉畜生産	草地	0.8	5.3	38	59	33	17	75	365	5.4	5.5	5.8	6.2	6.5	6.7		
52	3-2	肉畜生産	草地	0.8	5.3	32	42	24	17	53	276	5.5	5.7	6.1	6.6	6.8	6.8		
53	3-4	肉畜生産	草地	0.8	5.1	27	22	17	11	65	218	5.3	5.5	5.8	6.4	6.7	6.8		
54	3-5	肉畜生産	草地	0.7	5.1	33	21	16	12	58	168	5.2	5.3	5.6	6.0	6.4	6.6		
55	FA4-1	作物生産	畑地	1.1	6.0	7	57	35	63	39	207	6.3	6.8	7.2	7.3	7.2	7.3		
56	FA4-2	作物生産	畑地	1.1	6.1	8	60	46	66	52	266	6.6	7.0	7.3	7.4	7.4	7.4		
57	FA5	作物生産	畑地	1.2	6.1	5	110	41	57	33	278	7.0	7.2	7.5	7.5	7.6	7.5		
58	FA6	作物生産	畑地	1.1	5.9	4	66	37	57	35	215	6.5	7.0	7.3	7.4	7.4	7.4		
59	FA7	作物生産	畑地	1.1	5.7	8	93	54	77	41	231	6.7	7.1	7.4	7.5	7.5	7.5		
60	FB1	作物生産	畑地	1.1	6.4	7	9	6	129	69	254	6.6	7.3	7.5	7.5	7.5	7.5		
61	FB2	作物生産	畑地	1.1	6.6	12	104	78	90	71	296	7.0	7.1	7.3	7.3	7.4	7.3		
62	FB4	作物生産	畑地	1.1	6.7	11	186	149	48	57	440	7.5	7.7	7.8	7.8	7.8	7.8		
63	FB5	作物生産	畑地	1.0	6.7	24	236	228	139	73	464	7.0	7.3	7.5	7.5	7.5	7.5		
64	FB13	作物生産	畑地	1.1	6.5	5	123	66	40	26	178	7.2	7.5	7.6	7.6	7.6	7.6		
65	FB14	作物生産	畑地	1.2	6.1	2	8	6	21	11	93	6.9	7.0	7.4	7.5	7.5	7.5		
66	FB15	作物生産	畑地	1.2	5.7	0	29	16	20	10	68	6.9	7.2	7.5	7.6	7.6	7.6		
67	FB16																		

番号	圃場名	ステーション	利用区分	仮比重 g/cm <sup>3</sup>	pH H <sub>2</sub> O	熱水抽出性 窒素 mgN/100g	有効態リン		交換性陽イオン			pH緩衝曲線							
							BrayNo.2 草地用		Truog 畑地用		カリウム mgK <sub>2</sub> O /100g	マグネシウム mg MgO /100g	カルシウム mgCaO /100g	炭酸カルシウム添加量 mg/100g					
							mg P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> /100g							0	100	250	500	750	1000
68	FB17	作物生産	畑地	1.2	6.2	6	70	34	19	38	195	6.9	7.3	7.5	7.6	7.6	7.6		
69	FB18	作物生産	畑地	1.1	5.8	5	83	60	33	35	272	7.0	7.3	7.5	7.5	7.6	7.6		
70	FB19	作物生産	畑地	1.1	6.4	9	103	70	91	47	265	7.3	7.6	7.7	7.7	7.7	7.6		
71	FB20	作物生産	畑地	1.1	6.6	9	129	97	97	48	280	7.0	7.3	7.4	7.5	7.5	7.5		
72	FB21	作物生産	畑地	1.1	6.2	7	102	73	52	32	290	7.0	7.3	7.5	7.6	7.6	7.6		
73	FB22	作物生産	畑地	1.0	7.0	10	231	162	60	44	480	7.6	7.7	7.8	7.8	7.7	7.8		
74	FB23	作物生産	畑地	1.1	6.6	4	43	23	60	29	172	7.6	7.7	7.8	7.8	7.8	7.8		
75	FB24	作物生産	畑地	1.0	6.3	6	90	45	52	34	187	7.7	7.8	7.8	7.8	7.8	7.7		
76	FB25	作物生産	畑地	1.2	6.2	5	90	34	15	28	178	7.0	7.2	7.5	7.6	7.6	7.6		
77	FB26	作物生産	畑地	1.1	6.2	8	155	122	42	41	393	7.3	7.5	7.5	7.5	7.6	7.6		
78	FB27	作物生産	畑地	1.2	6.4	4	25	13	17	22	161	7.3	7.3	7.5	7.6	7.6	7.6		
79	FC2	作物生産	畑地	1.1	5.5	10	66	47	135	76	256	5.7	6.2	6.9	7.0	7.0	7.0		
80	FC4	作物生産	畑地	0.9	5.8	33	122	95	137	87	448	6.3	6.5	6.7	6.8	6.8	6.8		
81	FC5	作物生産	畑地	0.9	5.4	19	94	114	99	130	368	5.7	6.1	6.7	6.8	6.9	6.9		
82	FC6	作物生産	畑地	0.9	5.4	11	68	81	69	130	321	5.6	5.9	6.6	6.9	6.9	7.0		
83	FC7-1	作物生産	畑地	1.0	5.4	14	90	64	144	69	349	5.7	6.1	6.8	6.9	6.9	6.9		
84	FC7-2	作物生産	畑地	1.0	6.0	11	92	66	106	46	265	6.1	6.7	7.1	7.1	7.2	7.2		
85	FC8	作物生産	畑地	1.0	6.0	6	79	43	59	30	193	6.0	6.7	7.1	7.1	7.2	7.2		
86	FC9	作物生産	畑地	1.1	6.4	8	71	51	74	32	195	6.6	7.0	7.2	7.2	7.2	7.2		
87	FC10	作物生産	畑地	1.0	6.3	3	54	24	36	27	159	6.3	6.8	7.1	7.3	7.3	7.2		
88	FC11	作物生産	畑地	1.0	6.4	5	40	19	40	21	156	6.2	6.9	7.2	7.3	7.3	7.3		
89	FD1	作物生産	畑地	1.1	5.7	5	52	30	43	30	242	6.6	6.8	7.1	7.3	7.4	7.4		
90	FD2	作物生産	畑地	1.2	5.6	5	48	31	40	38	269	6.6	6.9	7.2	7.4	7.4	7.4		
91	FD3	作物生産	畑地	1.1	5.7	6	56	37	35	30	206	6.4	6.7	7.1	7.3	7.4	7.4		
92	FE1	作物生産	畑地	0.9	5.2	5	40	19	16	29	150	5.1	5.9	6.4	6.9	7.2	7.2		
93	FE2	作物生産	畑地	0.9	6.9	15	74	43	190	74	375	7.3	7.4	7.5	7.5	7.5	7.5		
94	FE9	作物生産	畑地	0.9	5.7	4	22	10	11	14	145	5.8	6.2	6.5	6.9	7.0	7.0		
95	FE10	作物生産	畑地	1.0	6.8	7	78	33	71	48	294	7.6	7.6	7.7	7.7	7.7	7.7		
96	FE11	作物生産	畑地	1.1	5.5	4	40	27	25	21	122	6.2	6.6	7.1	7.3	7.4	7.4		
97	FE12	作物生産	畑地	1.3	5.9	5	52	33	38	36	179	6.9	7.3	7.5	7.5	7.6	7.6		
98	FE13	作物生産	畑地	1.2	6.5	15	110	88	131	62	294	7.2	7.4	7.6	7.6	7.6	7.5		
99	FE14	作物生産	畑地	1.2	6.0	3	43	28	22	20	234	6.5	7.0	7.4	7.5	7.5	7.5		
100	FF3	作物生産	畑地	0.9	6.0	2	50	20	37	31	223	6.5	6.8	7.2	7.4	7.4	7.4		
101	FF4	作物生産	畑地	1.0	5.6	4	29	11	20	22	199	6.8	6.9	7.0	7.3	7.3	7.3		
102	水田	作物生産	畑地	1.1	6.2	4	20	12	31	47	223	6.5	6.7	6.9	7.1	7.1	7.1		
103	さつまいも	作物生産	畑地	1.1	6.4	7	36	29	62	65	306	6.6	7.0	7.2	7.2	7.3	7.3		
104	堆肥A	酪農生産	畑地	1.1	6.6	9	54	42	54	43	331	6.8	7.0	7.2	7.2	7.2	7.2		
105	堆肥+化肥A	酪農生産	畑地	1.1	6.0	8	61	45	49	35	301	6.9	7.1	7.2	7.3	7.2	7.2		
106	消化液A	酪農生産	畑地	1.1	6.2	5	28	24	15	30	238	6.6	6.9	7.2	7.2	7.2	7.2		
107	消化液+化肥A	酪農生産	畑地	1.1	5.6	5	49	34	14	25	228	6.4	6.8	7.1	7.1	7.2	7.1		
108	化肥A	酪農生産	畑地	1.1	5.1	6	50	34	13	24	190	6.2	6.6	7.0	7.1	7.2	7.2		
109	堆肥B	酪農生産	畑地	1.1	6.3	9	58	43	48	37	288	6.9	7.1	7.3	7.2	7.3	7.2		
110	堆肥+化肥B	酪農生産	畑地	1.1	6.2	9	61	44	46	38	351	6.7	7.0	7.2	7.2	7.2	7.2		
111	消化液B	酪農生産	畑地	1.1	6.4	6	39	29	14	31	282	6.7	6.9	7.1	7.1	7.1	7.0		
112	消化液+化肥B	酪農生産	畑地	1.1	5.5	3	64	43	15	29	246	6.4	6.7	7.0	7.1	7.1	7.1		
113	化肥B	酪農生産	畑地	1.1	5.1	4	60	36	12	20	175	5.9	6.5	6.9	7.1	7.1	7.1		

---

酪農学園フィールド教育研究センター報告 第11号（2024年度）

2025年12月発行 第1版

発行 酪農学園フィールド教育研究センター

〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地

TEL 011-386-1117

FAX 011-386-1574

---

